

特35

248

論孟提要

全

008718-000-6

特35-248

論孟提要

佐藤 雲韶/編

M32

AAC-1701



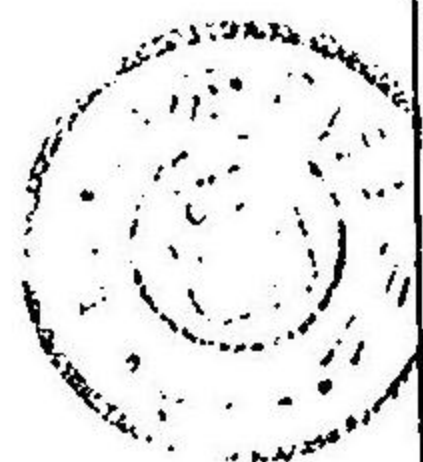
佐藤雲韶編

論孟提要 全

東京 金港堂書籍株式會社

論孟提要

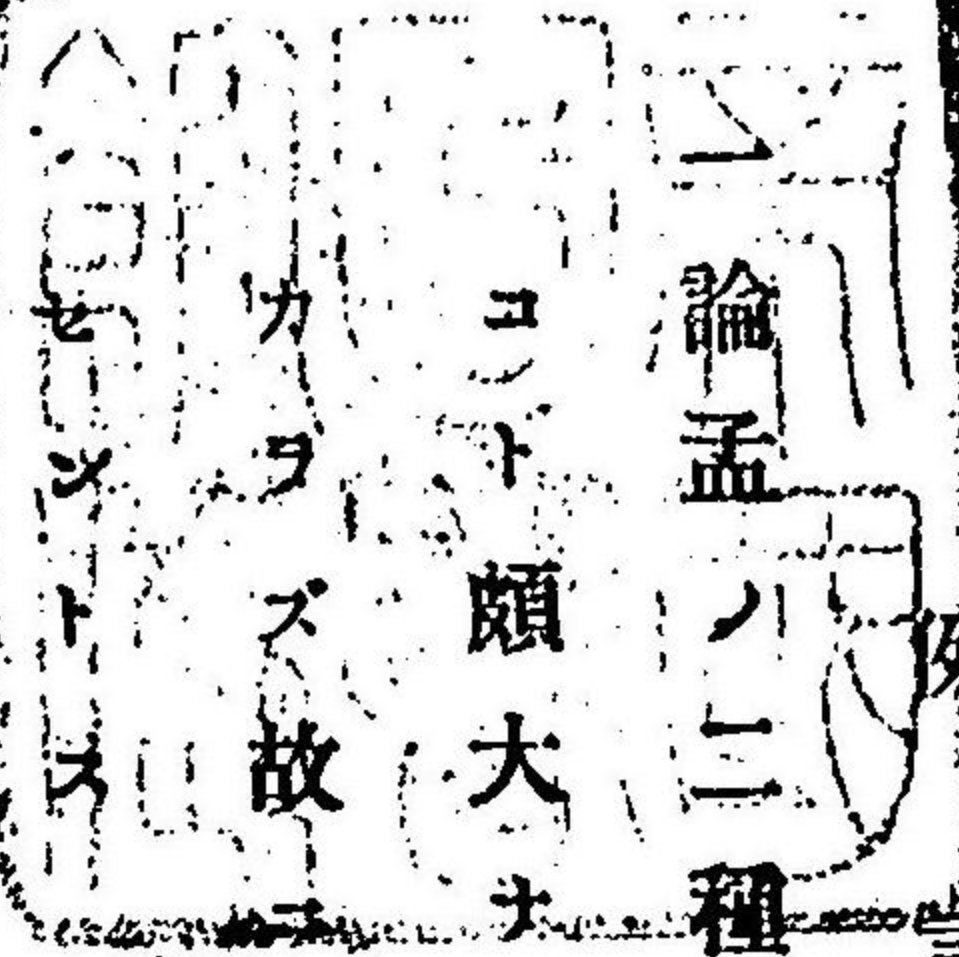
例言



- 一 論孟ノ二種久シク我邦ニ行ハレ風教ニ關セル
- コト頗大ナリ今尙脩身處世ニ資スベキ格言少
- カラズ故ニ分類抄録シテ中等教育ノ脩身ニ資
- セントス
- 一 此書ハ師範學校ノ二年級ニ用ルヲ目的トス
- 一 此書ヲ授クル方法ハ小學提要ノ例言ニ記セル
- 如クス可シ
- 一 註文ハ多ク集注ニ從ヘリト雖或ハ他説ヲ交ヘ

論孟提要

例言



論孟ノ二種久シク我邦ニ行ハレ風教ニ關セル

コト頗大ナリ今尙脩身處世ニ資スベキ格言少

カラズ故ニ分類抄録シテ中等教育ノ脩身ニ資

セントス

一此書ハ師範學校ノ二年級ニ用井ルヲ目的トス

一此書ヲ授クル方法ハ小學提要ノ例言ニ記セル

如クス可シ

一註文ハ多ク集注ニ從ヘリト雖或ハ他説ヲ交ヘ



論孟提要

タリ然レドモ一ノ臆説ナシ大學中庸ノ提要亦
然リ

一此書及ビ學庸ノ提要ハ松尾德島師範學校長ノ
指導助言ヲ得テ成レリ茲ニ記シテ謝意ヲ表ス

論孟提要

佐藤雲韶編

孝弟第一

○有子曰其爲人也孝弟而好犯上者鮮矣
不好犯上而好作亂者未之有也

解 有子ハ孔子ノ弟子、名ハ若ナリ、善ク父母ニ事フルヲ孝
トシ、善ク兄長ニ事フルヲ弟トス、上ヲ犯ストハ、上ニ在ル人
ヲ干犯スルヲ謂フ、亂ヲ作ストハ、悖逆ノ事ヲ爲ルナリ、此ハ
人能ク孝弟ナレバ、其心和順ニシテ、上ヲ犯スヲ好ムコト少

ク、必亂ヲ作スナ好マザルヲ言フナリ。

君子務本本立而道生孝弟也者其爲仁之本與。

解 務トハ、力ヲ專ニスルナリ。仁トハ、愛ノ理心ノ徳ナリ。與トハ、疑ノ辭ナリ。謙退シテ敢テ質言セザルナリ。君子ハ、凡事專ラ力ヲ根本ニ用ヰル。根本既ニ立ツトキハ、其道自生ズ。上文ニ所謂孝弟ハ、乃是仁ヲ爲ル本ニテ、學者コレヲ務ムレバ、仁道コレヨリシテ生ズルヲ言フナリ。

○子曰父在觀其志父沒觀其行三年無改於父之道可謂孝矣。

解 父ノ生存セル時ハ、其志ニ承順シ、父沒セシ後、其行ニ法リ效フナリ。而テ又、父沒シテ後三年、父ノ道ニ改ムルコト無クシテ、乃其孝ヲ見ルナリ。三年改ムルコト無キトハ、當ニ改ムベクシテ、速ニ改メザルベキ事ヲ謂フナリ。

○孟懿子問孝子曰無違。

解 孟懿子ハ、魯ノ大夫仲孫氏ニテ、名ハ何忌ナリ、違フ無シトハ、理ニ背カザルヲ謂フナリ。

樊遲御子告之曰孟孫問孝於我我對曰無違。

解 御トハ、孔子ノ爲ニ車ヲ御スルナリ。孟孫ハ、即仲孫ナリ。夫子ハ、懿子ガ未達セズレテ問フコト能ハザリシヲ以テ、其

指ヲ失ウテ、親ノ命ニ從フヲ孝ト爲シ、コトヲ恐ル。故ニ樊遲ニ語リテ、指ヲ發スルナリ。

樊遲曰。何謂也。子曰。生事之以禮。死葬之以禮。祭之以禮。

解 生事葬祭ニテ、親ニ事フル始終具レリ。禮ハ即理之節文ナリ。人ノ親ニ事フル、始ヨリ終ニ至ルマデ、禮ニ一ニシテ苟モセザレバ、其親ヲ尊ブコト至レリ。

○孟武伯問孝。子曰。父母唯其疾之憂。

解 武伯ハ懿子ノ子、名ハ懿ナリ。言フ心ハ、父母ノ子ヲ愛スル心至ラザル所ナレ。唯其疾病アラシク恐レ、常ニ以テ憂トス。人ノ子此ヲ體シ、父母ノ心ヲ以テ心トスレバ、其身ヲ守ル

所以ノモノ、自ラ謹マザルコトニ容レズ。豈以テ孝トス可カラザランヤ。

○子游問孝。子曰。今之孝者、是謂善養。至於犬馬皆能有養。不敬何以別乎。

解 子游ハ孔子ノ弟子、姓ハ言、名ハ偃ナリ。養トハ、飲食供奉ヲ謂フ。犬馬ハ人ヲ待テテ養ハル。亦養フ若ク然リ。言フ心ハ、人ノ犬馬ヲ畜フ皆能ク之ヲ畜フコトアリ。若シ能ク其親ヲ養ウテ、敬スルコト至ラズンバ、犬馬ヲ養フコトト何ゾ異ナラント。不敬ノ罪ヲ甚言スルハ、深ク之ヲ警ムル所以ナリ。

○子夏問孝。子曰。色難。有事弟子服其勞。有

酒食先生饌。曾是以爲孝乎。

解 色難シトハ親ニ事フル際、惟色ヲ難シトスルヲ謂フ。食ハ食物ナリ。先生トハ父兄ナリ。饌トハ飲食スルナリ。蓋孝子ノ深愛アル者ハ、必和氣アリ。和氣アル者ハ、必愉色アリ。愉色アル者ハ、必婉容アリ。故ニ親ニ事フル際、タダ色ヲ難シトスルノミ、勞ニ服スルト、奉養トハ、未孝トスルニ足ラザルナリ。

○子曰。父母之年不可不知也。一則以喜。一則以懼。

解 知ハ猶記憶ノ如キナリ。常ニ父母ノ年ヲ知ル時ハ、既ニ其壽ヲ喜ビ、又其衰フルヲ懼レテ、日ヲ愛シム。誠ニ於テ、自ラ已ムコト能ハザルモノ有リ。

○子曰。事父母幾諫。見志不從。又敬不違。勞而不怨。

解 幾ハ微ナリ。微諫トハ、父母ニ過アルトキ、氣ヲ下シ、色ヲ怡シウシ、聲ヲ柔ニシテ、以テ諫ムルナリ。志ノ從ハザルヲ見レバ、又敬スルコト違ハズトハ、諫メモシ入ラザレバ、敬ヲ起シ、孝ヲ起シ、悦ビヌレバ復諫ムルナリ。勞スレドモ怨ミズトハ、其罪ヲ鄉黨州閭ニ得ンヨリハ、寧熟諫シ、父母怒リテ之ヲ撻ナ血ヲ流ストモ、敢疾ミ怨ミズ。敬ヲ起シ、孝ヲ起スナリ。

○曾子有疾。召門弟子曰。啓予足。啓予手。詩云。戰戰兢兢。如臨深淵。如履薄冰。而今而後。

吾知免夫小子。

解 啓ハ開ナリ。曾子平日以爲ク、身體ハ父母ヨリ受ク、敢毀傷セザラント、故ニ此ニ於テ、弟子ニ其衾ヲ開イテ之ヲ視セシム。詩ハ小旻ノ篇ナリ、戰戰ハ恐懼、兢兢ハ戒謹ナリ、淵ニ臨ムハ、墜ナント恐ルルナリ、氷ヲ履ムハ、陷ラント恐ルルナリ、曾子、其保ツ所ノ全キヲ門人ニ示シテ、其保ツ所以ノ難キ此ノ如ク、死ナントスルニ至リテ後ニ、毀傷ニ免ルルヲ得ルヲ知リシヲ言フ。小子ハ門人ナリ、語り畢リ、又之ヲ呼ビ、以テ反覆丁寧ノ意ヲ致ス、身體ダモ虧ク可カラズ、況ヤ其行ヲ虧キテ、其親ヲ辱シムルヲヤ。

○子曰孝哉閔子騫。人不問於其父母昆弟

之言。

解 閔子騫ハ孔子ノ弟子、名ハ損ナリ、父母兄弟ノ其孝友ヲ稱スル、人皆之ヲ信シテ異言ナキハ、蓋ソノ孝友ノ實、中ニ積ミテ外ニ著ハルル有リ、故ニ夫子歎シテ之ヲ美トス。

○葉公語孔子曰吾黨有直躬者其父攘羊而子證之。

解 直躬トハ、身ヲ直クシテ行フ者アリ、因アリテ盜ムヲ攘ト曰フ。

孔子曰吾黨之直者異於此。父爲子隱子爲父隱直在其中矣。

解 父子相隱スハ天理人情ノ至リナリ。故ニ直キヲ爲サン
ト求メズシテ、直キコト其中ニアリ。

○孟子曰。道在爾而求諸遠。事在易而求諸
難。人人親其親長其長而天下平。

解 爾ハ邇ト通用ス。親ト長トハ、人ニ在リテ甚邇シトス。之
ヲ親ミ之ヲ長トスルハ、人ニ在リテ甚易シトス。而テ道ハ初
ヨリ是ニ外ナラザルナリ。此ヲ舍キテ他ニ求ムルトキハ、遠
ク且難クシテ、反リテ之ヲ失フ。但人人各ソノ親ヲ親ミ、其長
ヲ長トスルトキハ、天下自ラ平ナリ。

○孟子曰。事孰爲大。事親爲大。守孰爲大。守

身爲大。不失其身而能事其親者、吾聞之矣。
失其身而能事其親者、吾未之聞也。

解 身ヲ守ルトハ、其身ヲ持守シテ、不義ニ陷ラザラ使ムル
ナリ。モシ其身ヲ失フトキハ、體ヲ虧キ親ヲ辱シム。日ニ三牲
ノ養ヲ用井ルト雖、亦以テ孝ト爲ルニ足ラズ。

孰不爲事。事親事之本也。孰不爲守。守身守
之本也。

解 親ニ事ヘテ孝ナレバ、忠ナルコト君ニ移スベシ。順ナル
コト長ニ移スベシ。身正シケレバ、家齊ヒ國治リテ天下平ナ
リ。

○孟子曰。仁之實事親是也。義之實從兄是也。

解 仁ハ愛ヲ主トス。而テ愛ハ親ニ事フルヨリ切ナルハナシ。義ハ敬ヲ主トス。而テ敬ハ兄ニ從フヨリ先ナルハナシ。故ニ仁義ノ道ハ其用至リテ廣ケレドモ、其實ハ親ニ事ヘ兄ニ從フ間ニ過ギズ。蓋良心ノ發スルコト、最切近ニシテ精實ナル者ナリ。有子ガ孝弟ヲ以テ仁ヲ爲ル本トス。其意亦此ノゴトキナリ。

○孟子曰。人之所不學而能者其良能也。所不慮而知者其良知也。

解 良トハ本然ノ善ナリ。良知良能ハ皆由ル所ナシ。乃天ヨリ出デテ、人ニ係ラズ。

孩提之童無不知愛其親也。及其長也無不知敬其兄也。

解 孩提トハ二三歳ノ間ニテ孩笑スルヲ知リ、提抱スベキ者ナリ。親ヲ愛シ長ヲ敬スルハ所謂良知良能ナリ。

親親仁也。敬長義也。無他達之天下也。

解 親ヲ親ミ長ヲ敬スルハ一人ノ私ナリト雖之ヲ天下ニ達シテ同シカラザルハ無シ。仁義タル所以ナリ。

忠信第二

○曾子曰。吾日三省吾身。為人謀而不忠乎。與朋友交而不信乎。傳不習乎。

解 曾子ハ孔子ノ弟子、名ハ參字ハ子輿ナリ。己ヲ盡スヲ忠ト謂ヒ、實ヲ以テスルヲ信ト謂フ。傳トハ師ヨリ受クルヲ謂ヒ、習トハ己ニ熟スルヲ謂フ。曾子コノ三ツノ事ヲ以テ、日ニ其身ヲ省ミ、有レバ之ヲ改メ、無ケレバ勉ムルコトヲ加フ。其自治ムル誠切ナルコト此ノ如シ。

○子曰。人而無信、不知其可也。大車無輓、小車無軌、其何以行之哉。

解 大車トハ、平地任載ノ車ヲ謂フ。輓ハ轅端ノ横木ナリ。軌ヲ縛シテ牛ヲ駕スルモノ。小車トハ、田車兵車乗車ヲ謂フ。軌ハ轅端上曲シテ、衡ヲ鈎シテ馬ヲ駕スルモノナリ。車ニコノ二ツノモノ無ケレバ行ル可カラズ。人ニシテ信無キモ是ノゴトキナリ。

○子曰。事君盡禮、人以爲諂也。

解 孔子ノ君ニ事フル、禮ニ於テ加フル所アルニ非ルナリ。時ノ人能ハズ、反リテ以テ諂ヒトス。故ニ孔子之ヲ言ウテ、理ノ當然ヲ明セルナリ。

○子張問曰。令尹子文三仕爲令尹、無喜色。三已之、無愠色。舊令尹之政、必以告新令尹。

何如。子曰：忠矣。

解 令尹ハ官名。楚ノ執政ナリ。子文ノ姓ハ鬬。名ハ於菟。ソノ人トナリ。喜怒形ハレズ。物我ニ間ナシ。其國有ルヲ知リテ、其身アルヲ知ラズ。其忠盛ナリ。

○子以四教。文行忠信。

解 人ニ教フルニ、文ヲ學ビ、行ヲ脩メ、忠信ヲ存スルコトヲ以テスルナリ。

○子曰：不在其位。不謀其政。

解 各其職ニ專一ナランコトヲ欲スルナリ。モシ問フテ告グルコトハ則有ルナリ。

○子貢問友。子曰：忠告而善道之。不可則止。毋自辱焉。

解 友ハ仁ヲ輔クル所ナリ。故ニ其心ヲ盡シテ以テ之ニ告ゲ、其ノ説ヲ善クシテ之ヲ道ク。然レドモ不可ナレバ止ム。モシ數シテ疏マルルトキハ、自辱メラルルナリ。

○子路問事君。子曰：勿欺也。而犯之。

解 犯トハ、顔ヲ犯シテ諫争スルヲ謂フ。

○子張問行。子曰：言忠信。行篤敬。雖蠻貊之邦行矣。言不忠信。行不篤敬。雖州里行乎哉。

解 子張ノ意ハ、外ニ行ハルルヲ得ルニ在リ。故ニ夫子ハ身

ニ反シテ之ヲ言フ。蠻ハ南蠻、貊ハ北狄ナリ。二千五百家ヲ州トス。

立則見其參於前也。在輿則見其倚於衡也。夫然後行。

解 其トハ、忠信篤敬ヲ指シテ言フ。參トハ、我ト相參ルヲ言フナリ。衡ハ軛ナリ。忠信篤敬ニ於ケル、念々忘レズ。其在ル所ニ隨ヒテ、常ニ見ルコト有ルガ若クハ、頃刻之ニ離レント欲スト雖得ベカラズ。然ル後ニ、一言一行自然ニ忠信篤敬ニ離レズシテ、行ハルベシ。

子張書諸紳

解 紳ハ大帶ノ垂ルルモノ之ニ書スルハ、忘レザラント欲

シテナリ。

○子曰事君敬其事而後其食。

解 食ハ祿ナリ。君子ノ仕フルヤ、官守フル者ハ其職ヲ脩メ、言責アル者ハ其忠ヲ盡ス。皆吾ノ事ヲ敬スルノミ。先祿ヲ求ムル心有ル可カラザルナリ。

○子曰鄙夫可與事君也與哉。

解 鄙夫トハ、庸愚陋劣ノ稱。

其未得之也患得之。既得之患失之。

解 之ヲ得ント患フトハ、之ヲ得ルコト能ハザルヲ患フルヲ謂フ。

苟患失之、無所不至矣。

解 至ラザル所無シトハ、邪媚シテ爲サザル所ナキヲ言フ。

○孟子曰、責難於君、謂之恭。陳善閉邪、謂之敬。吾君不能、謂之賊。

解 人臣ノ難事ヲ以テ君ニ責ムルハ、君ヲ尊ムコトノ大ナルナリ。善道ヲ開陳シテ、君ノ邪ヲ禁閉シ、惟君ノ或ハ過アル地ニ陷ランコトヲ恐ルルハ、君ヲ敬スル至リナリ。其君ハ善道ヲ行フ能ハズト謂ヒテ、以テ告ゲザルハ、其君ヲ賊害スルコト甚シキナリ。

○孟子曰、不狹長、不狹貴、不狹兄弟、而友友。

也者、友其德也。不可以有狹也。

解 狹トハ、兼ホ有テテ之ヲ恃ムノ稱ナリ。

○孟子曰、君子之事君也、務引其君當道、志仁而已矣。

解 道ニ當ルトハ、事ノ理ニ合フヲ謂フ。仁ニ志ストハ、心ノ仁ニ在ルヲ謂フ。

○孟子曰、有官守者、不得其職、則去。有言責者、不得其言、則去。

解 官守トハ、官ヲ以テ守リト爲ル者ナリ。言責トハ、言ヲ以テ責トスル者ナリ。

○孟子曰有事君人者事是君則為容悅者也。

解 阿徇シテ容レラルルヲシ、逢迎シテ悦ビラルルヲス。此ハ鄙夫ノ事ナリ。

有安社稷臣者以安社稷為悅者也。

解 大臣ノ社稷ヲ安クセント計ルハ、小人ノ其君ニ悦ビラレント務ムルガ如シ。此ニ眷眷トシテ忘レザルナリ。

仁義第三

○子曰巧言令色鮮矣仁。

解 巧言令色ハ、偽君子ノ仁ニ似タル者ヲ言フ。飾ヲ外ニ致シテ、人ニ悦ビラレントヲ務ムレバ、人欲肆マ、ニシテ、本心ノ徳亡ビタリ。

○子曰不仁者不可以久居約不可以長處樂仁者安仁知者利仁。

解 約トハ窮困ナリ。利ハ猶貪ノゴトキナリ。不仁ノ人ハ、其本心ヲ失ヒテ、久シク約ナレバ必濫シ、久シク樂メバ必淫ス。惟仁者ハ仁ニ安ンシテ、適クトシテ然ラザル無シ。知者ハ仁ヲ利トシテ、守ル所ヲ易ヘズ、深淺ノ同シカラザル有リト雖、皆外物ノ奪ヒ能フ所ニ非ルナリ。

○子曰惟仁者能好人能惡人。

解 惟ノ言タル獨ナリ。蓋私心ナクシテ、然ル後ニ好悪スル
コト理ニ當ル。程子ノ其ノ公正ヲ得ルトハ是ナリ。

○子曰。苟志於仁矣。無惡也。

解 苟ハ誠ナリ。志トハ心ノ之ク所ナリ。其心誠ニ仁ニ在レ
バ、必惡ヲスル事ナキナリ。

○子曰。君子去仁。惡乎成名。

解 君子ノ君子タル所以ハ、其仁ナルヲ以テナリ。若仁ヲ離
レテハ、何ヲ以テ君子ノ名ヲ成サンヤ。

君子無終食之間違仁。造次必於是。顛沛必
於是。

解 終食トハ、一飲ノ間ナリ。造次ハ、急遽苟且ノ時ナリ。顛沛
ハ、傾覆流離ノ際ナリ。蓋君子ノ仁ヲ去ラザルコト此ノ如シ。

○子曰。我未見好仁者。惡不仁者。好仁者無
以加之。惡不仁者。其爲仁矣。不使不仁者加
乎其身。

解 夫子自言フ。未仁ヲ好ム者ト、不仁ヲ惡ム者トヲ見ズ。蓋
仁ヲ好ム者ハ、眞ニ仁ノ好ム可キヲ知ル。故ニ天下ノ物、以テ
之ニ加フル無シ。不仁ヲ惡ム者ハ、眞ニ不仁ノ惡ム可キヲ知
ル。故ニ其仁ヲ爲ス所以ハ、必不仁ノ事ヲ絶テ去リテ、少シモ
其身ニ及ブコト有ラ使メズ。此皆成徳ノ事ナリ。

有能一日用其力於仁矣乎。我未見力不足者。

解 仁ヲ好ミ不仁ヲ惡ム者ハ、見ル可カラズト雖、然レドモ或ハ人果シテ能ク奮然トシテ力ヲ仁ニ用井バ、我未其力足ラザルコト有ルヲ見ズ。蓋仁ヲ爲ルハ己ニ在リ。之ヲ欲スレバ則是ナリ。而シテ志ノ至ル所ハ氣モ必至ル。

蓋有之矣。我未見之也。

解 蓋ハ疑ノ辭ナリ。蓋人ノ氣質同シカラザレバ、或ハ進マント欲シテ能ハザル者アラシ。但我未之ヲ見ザルノミ。

○子貢曰。如有博施於民而能濟衆。何如可

謂仁乎。子曰。何事於仁。必也聖乎。堯舜其猶病諸。

解 仁トハ理ヲ以テ言フ。上下ニ通ズ聖トハ地位ヲ以テ言フ。其極ニ至ル名ナリ。乎トハ未定ノ辭。病トハ心ニ足ラザル所有ルナリ。言フ心ハ、此何ゾ仁ニ止ラン。必ヤ聖人之ヲ能セシカ。堯舜ノ聖ト雖、ソノ心ナホ此ニ足ラザル所アルナリ。

夫仁者己欲立而立人。己欲達而達人。

解 己ヲ以テ人ニ及スハ、仁者ノ心ナリ。仁ノ體ヲ狀スルコト、此ヨリ切ナルハ莫シ。

能近取譬。可謂仁之方而已。

解 譬ハ喩ナリ。方ハ術ナリ。近ク諸ヲ身ニ取り、己ノ欲スル所ヲ以テ之ヲ他人ニ譬ヘ、其欲スル所モ亦是ノ如シト知ルナリ。然ル後ニ其欲スル所ヲ推シテ、人ニ及ストキハ、恕ノ事ニシテ仁ノ術ナリ。

○子曰。仁遠乎哉。我欲仁。斯仁至矣。

解 仁ハ心ノ德ニテ、外ニ在ルニ非ルナリ。放ナテ求メズ。故ニ遠シトスルモノアリ。返リテ之ヲ求メバ、此ニ即キテ在リ。豈遠カラシヤ。

○顏淵問。仁。子曰。克己復禮爲仁。一日克己復禮。天下歸仁焉。爲仁由己。而由人乎哉。

解 仁トハ、本心ノ全德ナリ。克ハ勝ナリ。己トハ身ノ私欲ヲ

謂フナリ。復ハ反ナリ。禮トハ天理ノ節文ナリ。仁ヲ爲トハ、其心ノ德ヲ全クスル所以ナリ。蓋心ノ全德ハ天理ニ非ル莫シ。而シテ亦人欲ニ壞レザル能ハズ。故ニ仁ヲ爲ル者ハ、必私欲ニ勝ナテ、禮ニ復ルコト有リテ、後本心ノ德復我ニ全クスベシ。歸ハ與ノ如シ。又言フ。一日己ニ克テ、禮ニ復レバ、天下ノ人皆其仁ニ與スト。其效ノ甚速ニシテ、至大ナルヲ極言スルナリ。又言フ。仁ヲ爲ルハ己ニ由リテ、他人ノ能ク預ル所ニ非ズト。又其機ノ我ニ在リテ、難キコト無キヲ見ハスナリ。日日之ニ克ナテ、難シト爲サザレバ、私欲ハ淨盡シ、天理ハ流行シテ、仁用ルニ勝ユ可カラズ。

顏淵曰。請問其目。子曰。非禮勿視。非禮勿聽。

非禮勿言。非禮勿動。顏淵曰。回雖不敏。請事斯語矣。

解 目ハ條件ナリ。顏淵夫子ノ言ヲ聞ケバ、天理人欲ノ際ニ於テ已ニ判然タリ。故ニ復疑ヒ問フ所アラズシテ、直ニ其條目ヲ請フナリ。非禮トハ己ノ私ナリ。非禮ニシテ視ルコトヲ禁ズルハ、是人心ノ主トナリテ、私ニ勝テ禮ニ復ル所以ノ機ナリ。私ニ勝テバ、動容周旋禮ニ中ラザル無シ。請フ斯語ヲ事トセンハ、顏子其理ヲ默識シ、又自其力ノ之ニ勝ユルヲ知ル。故ニ直ニ己ガ任トシテ疑ハザルナリ。

○仲弓問仁。子曰。出門如見大賓。使民如承

大祭。己所不欲。勿施於人。在邦無怨。在家無怨。仲弓曰。雍雖不敏。請事斯語矣。

解 敬ニテ己ヲ持シ、恕ニテ物ニ及ストキハ、私意ノ容ルル所無クシテ、心ノ徳全シ。内外怨マルルコト無キハ、其效ヲ以テ言フ。或問フ。門ヲ出デ民ヲ使フ時、此ノ如クニテ可ナリ。門ヲ出デ民ヲ使ハザル時ハ、如何ニセン。曰ク。中ニ有レバ外ニ見ハル。門ヲ出デ民ヲ使フ時ニ、其敬スル此ノ如キヲ觀レバ、此ヨリ前ニ敬スルコト知ルベシ。門ヲ出デ民ヲ使フニ因リ、然ル後此敬アルニ非ルナリ。

○子曰。剛毅木訥近仁。

解 木ハ質樸ナリ。訥ハ遲鈍ナリ。四ツノ事ハ、質ノ仁ニ近キ

モノナリ。剛毅ナレバ物欲ニ屈セズ。木訥ナレバ外ニ馳スルニ至ラズ。故ニ仁ニ近シ。

○子曰。志士仁人、無求生以害仁、有殺身以成仁。

解 志士ハ善ニ志ス。士仁人ハ成徳ノ人ナリ。理死ヌベクシテ生ヲ求ムレバ、其心ニ於テ安ンゼザル有リ。是其心ノ徳ヲ害スルナリ。死ヌベクシテ死ヌレバ、心安クシテ徳全シ。

○子貢問爲仁。子曰。工欲善其事、必先利其器。居是邦也、事其大夫之賢者、友其士之仁者。

解 賢ハ事ヲ以テ言ヒ、仁ハ徳ヲ以テ言フ。其嚴憚切磋スル所アリテ、其徳ヲ成サンコトヲ欲スルナリ。子貢ハ仁ヲ爲ルヲ問フ。仁ヲ問フニ非ズ。故ニ孔子ノ之ニ告グル。仁ナスル資ヲ以テスル而已。

○子曰。民之於仁也、甚於水火。水火吾見蹈而死者矣、未見蹈仁而死者也。

解 民ノ水火ニ於ル、頼リテ生ズル所ナリ。一日モ無カル可カラズ。仁ニ於ルモ亦然リ。但水火無キトキハ、人ノ身ヲ害スルニ過ギズ。不仁ナレバ、其心ヲ失フ。是仁ハ水火ヨリ甚シキナリ。況水火ハ時ニ人ヲ殺スコト有リ。仁ハ未ダ嘗人ヲ殺サズ。何ヲ憚リテ爲ザルヤ。

○子曰當仁不讓於師。

解 仁ニ當ルトハ、仁ヲ以テ己ガ任トスルナリ。師ト雖亦遜ル所ナシトハ、勇往シテ、必爲スベキヲ言フナリ。

○子路曰君子尚勇乎。子曰君子義以爲上。君子有勇而無義爲亂。小人有勇而無義爲盜。

解 尚トハ、之ヲ上トシテ貴ブナリ。君子ハ亂ナシ、小人ハ盜ナス。皆位ヲ以テ言フナリ。義ヲ尚ブコトヲ爲レバ、其勇ヤ大ナリ。

○孟子曰人皆有不忍人之心。

解 天地ハ、物ヲ生ズルヲ以テ心トス。人ノ生ルルヤ、天地物ヲ生ズル心ヲ得テ心トス。人皆人ニ忍ビザル心アル所以ナリ。

先王有不忍人之心。斯有不忍人之政矣。以不忍人之心。行不忍人之政治。天下可運之掌上。

解 衆人ハ、人ニ忍ビザル心有リト雖、物欲之ヲ害シテ、存スル者寡シ。故ニ其端緒ヲ察識シテ、之ヲ政事ノ間ニ推スコト能ハズ。惟聖人ハ全ク此心ヲ體シテ、私欲雜ハラズ。感ニ從ヒテ自前ニ流出ス。故ニ其行フ所、人ニ忍ビザル政ニ非ザル無キナリ。

所以謂人皆有_レ不忍_レ人_レ之心者今人乍見_レ孺子將入井皆有_レ怵傷_レ惻隱之心非所以_レ內交_レ於孺子之父母也非所以_レ要譽_レ於鄉黨朋友也非惡_レ其聲_レ而然也。

解 怵傷ハ驚動ノ貌惻ハ傷ムコトノ切ナルナリ隱ハ痛ムコトノ切ナルナリ此即人ニ忍ビザル心ナリ内ハ結ナリ要ハ求ナリ聲ハ名ナリ言フ心ハ忽見ル時ニ便コノ心見ルニ隨ウテ發スルコトアリ此ノ三ツノコトニ由リテ然ルニ非ザルナリ。

由是觀之無_レ惻隱之心非_レ人也無_レ羞惡之心

非_レ人也無_レ辭讓之心非_レ人也無_レ是非之心非_レ人也。

解 羞ハ己ノ不善ヲ恥ヅルナリ惡ハ人ノ不善ヲ憎ムナリ辭ハ解キテ己ヲ去ラ使ムルナリ讓ハ推シテ人ニ與フルナリ是ハ其善ナルヲ知リテ以テ是トスルナリ非ハ其惡ヲ知リテ以テ非トスルナリ人ノ心タル所以ハ此ノ四ツノモノニ外ナラズ故ニ惻隱ヲ論ズルニ因リテ悉之ヲ數ヘ人若シ此無ケレバ之ヲ人ト謂フヲ得ズト言フ其必有ルヲ明スナリ。

惻隱之心仁之端也羞惡之心義之端也辭

讓之心禮之端也。是非之心智之端也。

解 惻隱ト、羞惡ト、辭讓ト、是非トハ情ナリ。仁ト、義ト、禮ト、智トハ性ナリ。心ハ性情ヲ統ベタルモノナリ。端ハ緒ナリ。其情ノ發ルルコトニ因リテ、性ノ本然ルコト得テ見ルベシ。猶物ノ中ニ在リテ、緒ノ外ニ見ハルルゴトキナリ。

人之有是四端也。猶其有四體也。有是四端而自謂不能者。自賊者也。謂其君不能者。賊其君者也。

解 四體ハ四肢ニテ、人ノ必有スル所ナリ。自能ハズト謂フ者ハ、物欲之ヲ蔽フ耳。

凡有四端者。知皆擴而充之矣。若火之始然。泉之始達。苟能充之。足以保四海。苟不充之。不足以事父母。

解 擴トハ推廣ノ意。充ハ滿ナリ。四端ハ我ニ在リテ隨處ニ發見ス。皆此ニ即キ、推シ廣メテ本然ノ量ヲ充滿スルヲ知ラバ、其日ニ新ニシテ又新ナルコト、自止ムコト能ハザル有ラシ。能ク此ニ由リテ遂ニ之ヲ充テバ、四海ノ遠キモ亦吾度内ニテ、保ンシ難キコト無シ。之ヲ充ツルコト能ハズンバ、事ノ至近ト雖、之ヲ能セザルナリ。

○陳臻問曰。前日於齊王餽兼金一百。而不

受_レ於_レ宋_ニ餽_ニ七十_ニ鎰_ニ而_レ受_ク於_レ薛_ニ餽_ニ五十_ニ鎰_ニ而_レ受_ク前_日之_レ不_レ受_ハ是_レ則_レ今_日之_レ受_ク非_レ也_{ナラバ}今_日之_レ受_ク是_レ則_レ前_日之_レ不_レ受_ハ非_レ也_{ナラン}夫_子必_ズ居_ル一_ニ於_レ此_ニ矣_{ナラバ}

解 陳臻ハ孟子ノ弟子ナリ兼金ハ好金ナリ其價ノ常ノニ兼子倍スル者一百トハ百鎰ナリ

孟子曰皆是也

解 皆義ニ適スルナリ

當_リ在_レ宋_ニ也_ニ予_レ將_レ有_ク遠_行行_ク者_ニ必_ズ以_テ贖_ク辭_ニ曰_ク餽_レ贖_ク予_レ何_レ爲_ク不_レ受_ク

解 贖トハ行ク者ヲ送ル禮ナリ

當_リ在_レ薛_ニ也_ニ予_レ有_ク戒_心辭_ニ曰_ク聞_ク戒_ク故_ニ爲_ク兵_餽之_レ予_レ何_レ爲_ク不_レ受_ク

解 時ニ人ノ孟子ヲ害セント欲スルコト有リ孟子兵ヲ設ケテ之ニ戒備ス薛ノ君金ヲ餽リテ孟子ノ兵備ノ爲ニス辭ニ曰ク子ノ戒心有ルヲ聞クナリト

若_キ於_レ齊_ニ則_レ未_レ有_ク處_也無_ク處_而餽_レ之_ニ是_レ貨_之也_{ナラバ}焉_レ有_ク君_子而_レ可_ク以_テ貨_取乎_{ナラバ}

解 遠行ト戒心トノ事無キハ是處ル所有ラザルナリ取ハ致ノゴトキナリ

○孟子曰。自暴者不可與有言也。自棄者不可與有爲也。言非禮義謂之自暴也。吾身不能居仁由義謂之自棄也。

解 暴ハ害ノゴトキナリ。非ハ毀ノゴトキナリ。自其身ヲ害スル者ハ、禮義ノ美タルヲ知ラズシテ、之ヲ非毀ス。之ト言フト雖、必信セザルナリ。自其身ヲ棄ツル者ハ、仁義ノ美タルヲ知レトモ、怠惰ニ溺レテ自行フ能ハズト謂フ。之ト爲ルコト有ルモ、必勉ムルコト能ハザルナリ。

仁人之安宅也。義人之正路也。

解 仁ハ本心ノ全徳ナリ。天理自然ノ安キ有リテ、人欲ノ陷

溺スル危サ無シ。故ニ安宅ト曰フ。義ハ宜ナリ。乃天理ノ行フベキニテ、人欲ノ邪曲ナシ。故ニ正路ト曰フ。

曠安宅而弗居。舍正路而不由。哀哉。

解 曠ハ空ナリ。由ハ行クナリ。

○孟子曰。魚我所欲也。熊掌亦我所欲也。二者不可得兼。舍魚而取熊掌者也。生亦我所欲也。義亦我所欲也。二者不可得兼。舍生取義者也。

解 魚ト熊掌トハ皆美味ナリ。而シテ熊掌ハ尤美ナリ。

生亦我所欲。所欲有甚於生者。故不爲苟得。

也。死亦我所惡。所惡有甚於死者。故患有所不辟也。

解 生ヲ舍テテ、義ヲ取ル所以ノ意ヲ釋スルナリ。得トハ生ヲ得ルナリ。生ヲ欲シ死ヲ惡ムハ、衆人ノ常情ナリト雖、欲惡ノ生死ヨリ甚シキモノ有ルハ、乃天性固有スル義理ノ良心ナリ。是ヲ以生ヲ欲スレドモ、苟得ルコトヲ爲ズ。死ヲ惡メドモ、避ケザル所有ルナリ。

如使人之所欲莫甚於生、則凡可以得生者何不用也。使人之所惡莫甚於死者、則凡可以避患者何不爲也。

解 人ニ天賦ノ良心ナクテ、但利害ノ私情アラ使メバ、凡生ヲ儉ミ死ヲ免ル可キコト、皆禮義ヲ顧ミズシテ之ヲ爲サン。由是則生而有不用也。由是則可以避患者而不爲也。

解 其天賦ノ良心ヲ必有ツニ由リ、是ヲ以テ、能ク生ヲ舍テ義ヲ取ルコト此ノ如シ。

是故所欲有甚於生者、所惡有甚於死者。非獨賢者有此心也。人皆有之。賢者能勿喪耳。

解 羞惡ノ心ハ、人皆之ヲ有ツ。但衆人ハ利欲ニ汨ミテ、之ヲ忘ル。惟賢者ハ、能ク之ヲ存シテ喪ハザルノミ。

簞食一豆羹得之則生弗得則死噉爾而與之行道之人弗受蹴爾而與之乞人弗屑也

解 噉ハ咄嗟ノ貌。行道ノ人トハ、路中ノ凡人。蹴ハ踐踏ナリ。乞人トハ、丐乞ノ人ナリ。不屑ハ以テ潔シト爲ザルナリ。言フ心ハ、食ヲ欲スルコト急ナリト雖、ナホ無禮ヲ惡ミ、寧死ヌトモ食ハザルコト有リ。是ハ其羞惡ノ本心ニテ、欲シ惡ムコト、生死ヨリ甚シキモノ有ルナリ。人皆之ヲ有テルナリ。

萬鐘則不辨禮義而受之萬鐘於我何加焉爲宮室之美妻妾之奉所識窮乏者得我與

解 萬鐘我ニ於テ何ゾ加ヘントハ、我身ニ增益スル所ナキ

ナ言フナリ。識ル所ノ窮乏ノ者我ニ得トハ、知識スル所ノ窮乏者ガ、我ノ惠ニ感ズルヲ謂フナリ。上ニハ、人ハ皆羞惡ノ心有ルヲ言ヒ、此ニハ衆人ノ之ヲ失フ所以ノ由ヲ言フ。此三ツノモノハ、蓋理義ノ心ハ固有ナリト雖、物欲ノ蔽フコト、亦人ノ昏ミ易キ所ナリ。

鄉爲身死不受今爲宮室之美爲之鄉爲身死而不受今爲妻妾之奉爲之鄉爲身死而不受今爲所識窮乏者得我而爲之是亦不可以已乎此之謂失其本心

解 三ツハ、身ノ外ノ物ニテ、其得失ハ生死ニ比シテ甚輕シ

トス。郷ニハ身ノ死ヌル爲ニモ、猶啜蹴ノ食ヲ受ケズ。今ハ乃
此三ツノ事ノ爲ニテ、禮義無キ萬鐘ヲ受ク。コレ豈止ム可カ
ラザルカ。本心トハ羞惡ノ心ヲ謂フ。此ノ章ハ、羞惡ノ心ハ人
ノ固有スル所、或ハ危迫ノ際ニ生死ヲ決スルモ、宴安ノ時ニ
豊約ヲ計ルヲ免ガレザルヲ言フ。

○孟子曰。仁ハ人心也。義者人路也。

解 仁ハ心ノ徳ナリ。此心アレバ即此仁アリ。故ニ之ヲ名ツ
ケテ人ノ心ト曰フ。則以テ此身ノ主トナリテ、須臾モ失フ可
カラザルヲ見ル可キナリ。義ハ行事ノ宜シキナリ。之ヲ人ノ
道ト謂フトキハ、以テ必由ノ路ニシテ、須臾モ舍ツ可カラザ
ルヲ見ルベキナリ。

舍_レ其路_ヲ而不由_ラ。放_チ其心_ヲ而不知_ラ求_ム。哀哉_シ。人有_レ
雞_ノ犬_ヲ放_テ則知_ル求_ム之_ヲ。有_リ放_チ心_ヲ而不知_ラ求_ム之_ヲ。

解 心ハ至リテ重ク、雞犬ハ至リテ輕シ。雞犬ノ放テルハ、之
ヲ求ムルヲ知り、心ノ放テルハ求ムルヲ知ラズ。豈至輕ナル
ヲ愛シテ、至重ナルヲ輕ンゼンヤ。思ハザルノミ。

學問之道無_シ他_ニ求_ム其放_チ心_ヲ而已_ニ矣。

解 學問ノ事、固ニ一端ニ非ズ。然レドモ、其道ハ放心ヲ求ム
ルニ在ルノミ。能ク此ノ如クナレバ、志氣清明昭著ニシテ、上
達スベシ。然ラザレバ、昏昧放逸ニシテ、學ニ從事スト雖、終ニ
發明スル所有ルコト能ハザルナリ。

○孟子曰。君子之於物也愛之而弗仁於民也。仁之而不親。親而仁。民仁民而愛物。

解 物トハ禽獸草木ヲ謂フ。愛ハ之ヲ愛育スルヲ謂フ。其分同シカラズ。故ニ施ス所ニ差等無キコト能ハズ。所謂理一ニレテ分殊ナルナリ。

○孟子曰。人皆有所不忍。達之於其所忍。仁也。人皆有所不為。達之於其所為。義也。

解 惻隱羞惡ノ心ハ、人皆之ヲ有ツ。故ニ忍ビザル所有ラザル無レ。爲ザル所アラザル無シ。此仁義ノ端ナリ。然レドモ氣質ノ偏ト、物欲ノ蔽フトナ以テ、他事ニ於テ或ハ未能ハザル

コト有リ。但能クスル所ヲ推シテ、之ヲ能セザル所ニ達スレバ、仁義ニ非ル無キナリ。

人能充無欲害人之心而仁不可勝用也。人能充無穿窬之心而義不可勝用也。

解 穿ハ穴ヲ穿テ、窬ハ墻ヲ踰ユルナリ。皆盜ヲ爲ル事トス。能ク忍ビザル所ヲ推シテ、忍ブ所ニ達スレバ、能ク人ヲ害セント欲スルコト無キ心ヲ滿テテ、仁ナラザル無シ。能ク爲ザル所ヲ推レテ、爲ル所ニ達スレバ、能ク穿窬スルコト無キ心ヲ滿テテ、義ナラザル無キナリ。

人能充無受爾汝之實無所往而不為義也。

解 此ハ、上文ノ穿窬スルコト無キヲ充ス意ヲ申説スルナ

リ。蓋爾汝ハ人ノ輕賤スル所ノ稱。人或ハ貪味隱忍シテ、之ヲ甘受スル者有リト雖、然レドモ其中心ハ、必慚忿シテ之ヲ受ケ肯ンゼザル實有リ。人能ク之ニ即キテ之ヲ推シ、充滿シテ虧缺ナカラ令メバ、適クトシテ義ニ非ル無キナリ。

禮樂第四

○有子曰。禮之用。和爲貴。先王之道。斯爲美。小大由之。

解 禮ハ天理ノ節文ニシテ、人事ノ儀則ナリ。和トハ、從容トシテ迫ラザル意ナリ。蓋禮勝ツトキハ離ル。故ニ禮ノ用ハ和ヲ貴シトス。先王ノ道コレヲ美トシテ、小事大事之ニ由ラザ

ルコト無キナリ。

有所不行。知和而和。不以禮節之。亦不可行也。

解 上文ヲ承ケテ言フ。此ノ如クニシテ復行ハレザル所有ルハ、徒ニ和ノ貴キタルヲ知り、和ニ一ニシテ復禮ヲ以テ之ヲ節セザレバ、流蕩シテ行フ可カラザルナリ。

○子曰。人而不仁。如禮何。人而不仁。如樂何。

解 人ニシテ不仁ナレバ、人心亡ビタリ。其禮樂ヲ如何ニセシヤ。之ヲ用井ント欲スト雖、禮樂之ガ用タラザルナリ。

○林放問禮之本。

解 林放ハ魯人ナリ。世ノ禮ヲ爲ル者、專繁文ヲ事トスルヲ見テ、其本ノ是ニ在ラザルヲ疑フ。故ニ問ヘルナリ。

子曰大哉問。

解 孔子時方ニ末ヲ逐ヒテ、放ノ獨本ニ志有ルヲ以テ、故ニ其問ヲ大ナリトス。

禮與其奢也寧儉。喪與其易也寧戚。

解 易ハ治ムルナリ。喪禮ニ在リテハ、節文ノ習熟シテ、哀痛慘怛ノ實無キコトナリ。戚ハ則哀ミニ一ニシテ、文足ラザルノミ。禮ハ中ヲ得ルヲ貴ブ。奢ト易トハ文ニ過ギ、儉ト戚トハ及バズシテ質ナリ。二ツノ事皆禮ニ合ハズ、然レドモ、凡物ハ質アリテ後ニ文アリ。質ハ乃禮ノ本ナリ。

○子入大廟。每事問。或曰孰謂鄫人之子知禮乎。入大廟。每事問。子聞之曰是禮也。

解 大廟ハ魯ノ周公ノ廟ナリ。蓋孔子ノ始メテ仕フル時、入リテ祭ヲ助ケシナリ。孔子ノ父叔梁紇、鄆邑ノ大夫タリ。孔子少キヨリ禮ヲ知ルヲ以テ聞ユ。故ニ或人此ニ因リテ之ヲ譏ル。孔子ノ是禮ナリト言フハ、事ゴトニ問フハ、敬謹ノ至リ、乃禮タルナリ。

○子語魯大師樂曰樂其可知也。始作翕如也。從之純如也。噉如也。繹如也。以成。

解 大師ハ樂官ナリ。時ニ音樂廢缺ス。故ニ孔子之ヲ教フ。翕

ハ合フナリ。從ハ放ツナリ。純ハ和スルナリ。噉ハ明ナリ。繹ハ相續キテ絶エザルナリ。成トハ、樂ノ一タビ終ルナリ。

○子曰。能以禮讓爲國乎。何有。不能以禮讓爲國。如禮何。

解 讓ルハ禮ノ實ナリ。何有トハ、難カラザルヲ言フナリ。言フ心ハ、禮ノ實アリ以テ國ヲ爲ムレバ、何ノ難キコト有ラン。然ラズンバ、禮文具ハルト雖、亦之ヲ如何トモスルコト無キナリ。

○子曰。奢則不孫。儉則固。與其不孫也。寧固。

解 孫ハ順ナリ。固ハ陋ナリ。奢ト儉トハ俱ニ中ヲ失フ。而シテ奢ノ害ハ大ナリ。

○子曰。恭而無禮則勞。慎而無禮則蕙。勇而無禮則亂。直而無禮則絞。

解 蕙トハ畏懼ノ貌。絞ハ急切ナリ。禮無ケレバ節文無シ。故ニ四ツノ弊アリ。

○曾子有疾。孟敬子問之。

解 孟敬子ハ魯ノ大夫。仲孫氏ニテ、名ハ捷ナリ。之ヲ問フトハ、其疾ヲ問フナリ。

曾子言曰。鳥之將死其鳴也哀。人之將死其言也善。

解 言ハ自言ナリ。鳥ハ死ヲ畏ル。故ニ鳴ク。コト哀シ。人ハ窮

善ナルヲ知リテ、之ヲ識サンコトヲ欲スルナリ。

君子之所貴乎道者三。動容貌斯遠暴慢矣。正顏色斯近信矣。出辭氣斯遠鄙倍矣。

解 容貌トハ、一身ヲ舉ゲテ言フ。暴ハ粗厲ナリ。慢ハ放肆ナリ。顏色ヲ正シクシテ信ニ近ヅケバ、色莊ニ非ザルナリ。辭ハ言語氣ハ聲氣ナリ。鄙ハ凡陋ナリ。倍ハ背ト同シ。理ニ背クヲ謂フナリ。

○子曰興於詩。

解 興ハ起ナリ。詩ノ言タル、既ニ知リ易クシテ、吟咏スル間ニ、抑揚反覆シテ、其人ヲ感ゼシムルコト入り易シ。故ニ學者

ノ、初善ヲ好ミ惡ヲ惡ム心ヲ興起シテ、已ムコト能ハザルコト、必此ニ於テ之ヲ得ベシ。

立於禮。

解 禮ハ恭敬辭遜ヲ本トシテ、節文度數ノ詳ナル有リ。以テ人ノ肌膚ノ會ト、筋骸ノ束トヲ固クス可シ。學者ノ能ク卓然ト自立シテ、事物ニ搖奪セラレザルコト、必此ニ於テ之ヲ得ベシ。

成於樂。

解 樂ニハ五聲十二律アリ。以テ歌舞八音ノ節ヲス。以テ人ノ性情ヲ養ウテ、邪穢ヲ蕩滌ス可シ。故ニ學者ノ、義精シク仁熟シテ、道德ニ利順スルニ至ルハ、必此ニ於テ之ヲ得。

○子曰先進於禮樂野人也後進於禮樂君子也。

解 先進後進トハ、前輩後輩ト言フガゴトシ、野人トハ、郊外ノ民ヲ謂フ、君子トハ、士大夫ヲ謂フ、先進ノ禮樂ニ於ケル、文質宜シキヲ得タリ、今ハ之ヲ質朴ナリト謂ヒテ、野人トス、後進ノ禮樂ニ於ケルハ、文其質ニ過グ、今反リテ之ヲ彬彬タリト謂ウテ、君子トス、蓋周ノ末ハ文勝テリ、故ニ時人文ニ過グルヲ知ラザルナリ。

如用之則吾從先進。

解 之ヲ用ヒルトキトハ、禮樂ヲ用井ルヲ謂フ、孔子既ニ時人ノ言ヲ述ベ、又自言フコト此ノ如シ、質ヲ重ンズルナリ。

○子曰禮云禮云玉帛云乎哉樂云樂云鐘鼓云乎哉。

解 敬アリテ、之ヲ行フニ玉帛ヲ以テスレバ禮タリ、和ニシテ、之ヲ發スルニ鐘鼓ヲ以テスレバ樂タリ、其本ヲ遺シテ、專其末ノ事トスルハ、豈禮樂ノ謂ヒナランヤ。

○子之武城聞弦歌之聲。

解 弦トハ琴瑟ナリ、時ニ子游武城ノ宰タリ、禮樂ヲ以テ教トス、故ニ邑人皆弦歌セシナリ。

夫子莞爾而笑曰割雞焉用牛刀。

解 莞爾ハ小シ笑フ貌、蓋之ヲ喜ブナリ、因リテ言フ、小邑ヲ

○子曰。先進於禮樂。野人也。後進於禮樂。君子也。

解 先進後進トハ、前輩後輩ト言フガゴトシ。野人トハ、郊外ノ民ヲ謂フ。君子トハ、士大夫ヲ謂フ。先進ノ禮樂ニ於ケル、文質宜シキヲ得タリ。今ハ之ヲ質朴ナリト謂ヒテ、野人トス。後進ノ禮樂ニ於ケルハ、文其質ニ過グ。今反リテ之ヲ彬彬タリト謂ウテ、君子トス。蓋周ノ末ハ文勝タリ。故ニ時人文ニ過グルヲ知ラザルナリ。

如用之則吾從先進。

解 之ヲ用ヒルトキトハ、禮樂ヲ用ルヲ謂フ。孔子既ニ時人ノ言ヲ述ベ、又自言フコト此ノ如シ。質ヲ重ンズルナリ。

○子曰。禮云禮云。玉帛云乎哉。樂云樂云。鐘鼓云乎哉。

解 敬アリテ、之ヲ行フニ玉帛ヲ以テスレバ禮タリ。和ニシテ、之ヲ發スルニ鐘鼓ヲ以テスレバ樂タリ。其本ヲ遺シテ、專其末ノ事トスルハ、豈禮樂ノ謂ヒナランヤ。

○子之武城聞弦歌之聲。

解 弦トハ琴瑟ナリ。時ニ子游武城ノ宰タリ。禮樂ヲ以テ教トス。故ニ邑人皆弦歌セシナリ。

夫子莞爾而笑曰。割雞焉用牛刀。

解 莞爾ハ小シ笑フ貌。蓋之ヲ喜ブナリ。因リテ言フ。小邑ヲ

治ムルニ何ゾ必シモ大道ヲ用井ンヤ。

子游對曰昔者偃也聞諸夫子曰君子學道則愛人小人學道則易使也。

解 君子ト小人トハ位ヲ以テ言フ心ハ君子モ小人モ學バザル可カラズ故ニ武城ハ小ナリト雖亦必教フルニ禮樂ヲ以テス。

子曰二三子偃之言是也前言戲之耳。

解 子游ノ篤ク信ズルヲ嘉シ又以テ門人ノ感ヲ解クナリ。

○孟子居鄒季任爲任處守以幣交受之而不報處於平陸儲子爲相以幣交受之而不

報

解 季任ハ任君ノ弟ナリ任ノ君鄰國ニ朝會シ季任之ガ爲ニ其國ヲ居守セシナリ儲子ハ齊ノ相ナリ報ゼザルハ來テ見ユレバ當ニ報ズベキモ但幣ヲ以テ交レバ報ズルヲ必トセザルナリ。

他日由鄒之任見季子由平陸之齊不見儲子屋廬子喜曰連得間矣。

解 屋廬子ハ孟子ノ此ニ處スル必義理アルヲ知ル故ニ間隙ヲ得テ之ヲ問フコトヲ得ルヲ喜ブ。

問曰夫子之任見季子之齊不見儲子爲其

爲相與。

解 儲子ハ但齊ノ相季子ガ君ノ位ヲ攝守スルニ若カズ故ニ之ヲ輕ンズルカト言フナリ。

曰非也。書曰。享多儀。儀不及物。曰不享。惟不役志于享也。

解 書トハ洛誥ノ篇享トハ上ニ奉ズルナリ儀トハ禮ナリ物トハ幣ナリ役ハ用ナリ享スト雖禮意ノ其幣ニ及バザルハ是不享ナリ其志ヲ享ニ用井ザルヲ以テナリ。

爲其不成享也。

解 孟子ガ書ノ意ヲ釋スルコト此ノ如シ。

屋廬子悅。或問之。屋廬子曰。季子不得之鄒。儲子得之平陸。

解 季子ハ君ノ爲ニ居守レ他國ニ往キテ孟子ニ見ユルヲ得ザレバ幣ヲ以テ交リテ禮意已ニ備レリ儲子ハ齊ノ相タリ齊ノ境内ニ至ル可クシテ來テ見エザレバ幣ヲ以テ交リシトモ禮意物ニ及バザルナリ。

知勇第五

○子曰。由。誨女知之乎。知之爲知之。不知爲不知。是知也。

解 由ハ孔子ノ弟子、姓ハ仲、字ハ子路ナリ。子路ハ勇ヲ好ム。蓋知ラザル所ヲ強ヒテ、知レリト爲ルコト有リ。故ニ夫子之ニ告ゲテ曰ク、我汝ニ知ル道ヲ教ヘンカ。但知レル所ノコトハ知レリトシ、知ラザル所ハ知ラズトセヨ。此ノ如クナレバ、自欺ク蔽ナク、知ル所ノコト皆實ニ知レルナリ。

○子曰。非其鬼而祭之。諂也。

解 其鬼ニ非ズトハ、其祭ルベキ所ノ鬼神ニ非ザルヲ謂フ。諂トハ媚ヲ求ムルナリ。

見義而不爲無勇也。

解 知リテ爲ザルハ無勇ナリ。

○子曰。吾未見剛者。或對曰。申枨。子曰。枨也。

慾焉得剛。

解 剛トハ、堅強ニテ屈セザル意。最人ノ能シ難キ所ノコトナリ。故ニ夫子見ザルヲ歎ズ。申枨ハ弟子ノ姓名ナリ。慾トハ嗜慾多キナリ。嗜慾多ケレバ剛タルヲ得ザルナリ。

○樊遲問。知子曰。務民之義。敬鬼神而遠之。可謂知矣。

解 専力ヲ人道ノ宜シキ所ニ用井テ、鬼神ノ知ル可カラザルニ惑ハザルハ、知者ノ事ナリ。

○曾子曰。士不可以不剛毅。任重而道遠。

解 弘トハ寬廣ナリ。毅トハ強忍ナリ。弘ニ非レバ、其重キニ

勝ユルコト能ハズ。毅ニ非レバ、以テ遠キニ致スコト無シ。

仁以爲己任。不亦重乎。死而後已。不亦遠乎。

解 仁ハ人心ノ全徳ナリ。而テ心身ヲ以テ體シテ力行セン
ト欲ス。重シト謂フ可シ。一息尙存スレバ、此志少シモ懈ルベ
カラズ。遠シト謂フ可シ。

○子曰。三軍可奪帥也。匹夫不可奪志也。

解 三軍ノ勇ハ人ニ在リ。匹夫ノ志ハ己ニ在リ。故ニ帥ハ奪
フベクシテ、志ハ奪フ可カラズ。若奪フ可クハ、亦之ヲ志ト謂
フニ足ラザルナリ。

○子曰。知者不惑。仁者不憂。勇者不懼。

解 明ハ以テ理ヲ燭スニ足ル。故ニ惑ハズ。理ハ以テ私ニ勝

ツニ足ル。故ニ懼レズ。

○子曰。可與言而不與之言。失人。不可與言
而與之言。失言。知者不失人。亦不失言。

解 己ヲ虚クシテ受ケ、或ハ言ヲ聞キテ悟ルハ、與ニ言フベ
キ人ナリ。然ルニ之ト言ハザルハ、人ヲ失フナリ。又剛愎ノ人
或ハ蔽錮ニシテ通ゼザルハ、與ニ言フ可カラザル人ナリ。之
ト言フハ言ヲ失フナリ。唯知者ハ一ツノ失ナシ。

○子曰。人無遠慮。必有近憂。

解 慮ルコト千里ノ外ニ在ラザレバ、患几席ノ下ニ在ルナ
リ。

○子曰群居終日言不及義好行小慧難矣哉。

解 小慧ハ私智ナリ。言フコト義ニ及バザレバ、放僻邪侈ノ心滋ス。好ミテ小慧ヲ行フトキハ、險ヲ行ヒ僥倖スル機熟ス。難イカナトハ、其德ニ入ルコト無クレテ、患害アラシク言フナリ。

○子曰知及之仁不能守之雖得之必失之。

解 知ハ此理ヲ知ルニ足レドモ、私欲之ヲ間ツレバ、以テ之ヲ身ニ有ツコト無キナリ。

知及之仁能守之不莊以涖之則民不敬。

解 涖ハ臨ナリ。民ニ臨ムヲ謂フナリ。此理ヲ知リテ、私欲ノ以テ之ヲ間スルコト無ケレバ、知ル所ノモノ、我ニ在リテ失ハザルナリ。然レドモ猶莊ナラザルコト有ルハ、蓋氣習ノ外ニ嚴ナラザルモノアリ。是ヲ以テ民之ヲ慢易ス。

知及之仁能守之莊以涖之動之不以禮未善也。

解 之ヲ動ストハ、民ヲ動スナリ。禮ハ義理ノ節文ヲ謂フ。

○孔子曰生而知之者上也。學而知之者次也。困而學之又其次也。困而不學民斯為下矣。

解 困トハ通ゼザル所有ルヲ謂フ。人ノ氣質ノ不同ナル、大
約此ノ四等アリ。其質同シカラズト雖、之ヲ知ルニ及ビテハ
一ナリ。故ニ學ブヲ惟貴シトス。

○子曰。道聽塗說。德之棄也。

解 善言ヲ聞クト雖、己ガ有ト爲ザレバ、是自其ノ德ヲ棄ツ
ルナリ。

○子夏曰。日知其所亡。月無忘其所能。可謂
好樂也已矣。

解 亡ハ無ナリ。己ノ未有セザル所ヲ謂フ。

○子曰。不知命。無以爲君子也。

解 命ヲ知ルトハ、命アリト知リテ之ヲ信ズルナリ。人ニシ
テ命ヲ知ラザレバ、害ヲ見テ必避ケ利ヲ見テ必趨ク。何ヲ以
テ君子ト爲ン。

不知禮無以立也。

解 禮ヲ知ラザレバ、耳目ハ加フル所ナク、手足ハ措ク所ナ
シ。

不知言無以知人也。

解 言ノ得失ニテ、人ノ邪正ヲ知ル可シ。

○公孫丑曰。夫子加齊之鄉相。得行道焉。雖
由此霸王不異矣。如此則動心否乎。孟子曰。

否。我四十不動心。

解 公孫丑ハ孟子ノ弟子ナリ。問フ孟子モシ位ヲ得テ道ヲ行ハバ、此ニ由リテ霸王ノ業ヲ成スト雖、亦怪ムニ足ラズ、任大ニ責重キコト此ノ如クナレバ、恐懼疑惑スル所アリテ、其心ヲ動カサンカト。四十ハ強仕ナリ。君子ノ道明ニ徳立ツ時ナリ、孔子ノ四十ニシテ惑ハズトハ、亦心ヲ動カサザル謂ヒナリ。

曰若此則夫子過孟賁遠矣。曰是不難告子先我不動心。

解 孟賁ハ勇士ナリ。告子ハ其人トナリ詳ナラズ。孟賁ハ血氣ノ勇ナリ。蓋之ヲ惜リテ、以テ孟子ノ心ヲ動サザルコトノ

難キヲ贊ス。孟子言フ告子ハ未道ヲ知レリト爲ズ。乃能ク我ニ先ナテ心ヲ動カザレバ、亦難シト爲ルニ足ラザルナリ。

曰不動心有道乎。曰有。

解 心ニ主アレバ、能ク動カザルナリ。

北宮黝之養勇也。不膚撓。不目逃。思以一毫挫於人。若撻之於市朝。不受於褐寬博。亦不受於萬乘之君。視刺萬乘之君。若刺褐夫。無嚴諸侯。惡聲至必反之。

解 北宮ハ姓、黝ハ名ナリ。膚撓ムトハ、肌膚ノ刺サレテ撓屈スルナリ。目逃グトハ、目ノ刺サレテ睛ヲ轉シ逃避スルナリ。

挫ハ辱ノゴトシ。褐ハ毛布ナリ。寬博ハ寬大ノ衣ニテ、賤者ノ服ナリ、受ケズトハ、其辱ヲ受ケザルナリ。刺ハ殺ナリ。嚴ハ畏憚ナリ、畏憚スベキ諸侯無キヲ言フナリ。黜ハ必勝ヲ以テ主ト爲テ、心ヲ動カサザル者ナリ。

孟施舍之所養勇也。曰視不勝猶勝也。量敵而後進、慮勝而後會、是畏三軍者也。舍豈能爲必勝哉。能無懼而已矣。

解 孟ハ姓、施ハ發語ノ聲、舍ハ名ナリ。會ハ合戰ナリ。舍自言フ、戰勝タズト雖、亦懼ルル所ナシ、若敵ノ力ヲ量リテ後ニ進ミ戰フハ、是勇無クシ三軍ヲ畏ルルナリト。蓋力戰ノ士、懼ルル無キヲ以テ主トシテ、心ヲ動カサザル者ナリ。

孟施舍似曾子。北宮黜似子夏。夫二子之勇未知其孰賢。然而孟施舍守約也。

解 黜ハ人ニ敵スルヲ務メ、舍ハ專己ヲ守ル。曾子ハ己ニ反求シ、子夏ハ公孫悁ト勇ヲ論ズ。二子ト曾子子夏ト、等倫ニ非ズト雖、其氣象ヲ論ズレバ各似タル所有リ。賢ハ勝ノ如キナリ。約ハ要ナリ、言フ心ハ、二子ノ勇ヲ論ズレバ、孰レカ勝レルヲ知ラズ。然レドモ其守ル所ヲ論ズレバ、舍ハ黜ニ比シテ、其要ヲ得タリト爲ルナリ。

昔者曾子謂子襄曰。子好勇乎。吾嘗聞大勇於夫子矣。自反而不縮。雖褐寬博。吾不憚焉。

自反、而縮、雖千萬人、吾往矣。

解 此ハ曾子ノ勇ヲ言フ。子襄ハ曾子ノ弟子ナリ。夫子トハ孔子ナリ。縮ハ直ナリ。往ハ往キラ之ニ敵スルナリ。

孟施舍之守氣、又不如曾子之守約也。

解 孟施舍ハ曾子ノ似タリト雖モ、守ル所ハ乃一身ノ氣ニテ、曾子ガ身ニ反リ理ニ循ヒ、守ル所尤其要ヲ得タルニ如カザルナリ。孟子ノ心ヲ動カサザル、其原ハ蓋此ニ出ヅ。

曰、敢問、夫子之不動心、與告子之不動心、可得聞與。告子曰、不得於言、勿求於心。不得於心、勿求於氣。不得於心、勿求於氣。可不得於

言、勿求於心、不可。夫志氣之帥也。氣體之充也。夫志至焉、氣次焉。故曰、持其志、無暴其氣。

解 此一節ハ、公孫丑ノ問ニテ、孟子ガ告子ノ言ヲ誦レ、又斷ズルニ己ノ意ヲ以テシテ之ニ告グルナリ。告子ハ謂フ、言ニ於テ達セザルコト有ラバ、其言ヲ舍テ置キテ、其理ヲ心ニ反リ求メズ。心ニ於テ安ンゼザルコト有ラバ、其心力ヲ制シテ、其助ヲ氣ニ求メザレト。此其心ヲ固守シテ、動カサザルコト速ナル所以ナリ。孟子既ニ其言ヲ誦レテ、之ヲ斷シテ曰ク、彼ノ心ニ得ズトモ、之ヲ氣ニ求ムル勿レトハ、本ニ急ニシテ末ヲ緩クスレバ、猶可ナリ。言ニ得ズトモ、心ニ求メザレト謂フハ、既ニ外ニ失シテ、遂ニ其内ヲ遺ス、其不可ナルコト必セリ。

然シテ凡可ト曰フハ、亦可ニシテ未盡サザルコト有ル辭ナリ。若其極ヲ論ズレバ、志ハ固ニ心ノ之ク所ニシテ氣ノ將帥タリ。然シテ氣モ身ニ充滿シテ、志ノ卒徒タルモノナリ。故ニ志ノ至ル所ハ、氣之ニ次ギテ至ル。人固ニ其志ヲ敬守スベシ。然レドモ其氣ヲ養フコトヲ致サザル可カラズ。

既曰志至焉氣次焉。又曰持其志無暴其氣者何也。曰志壹則動氣。氣壹則動志也。今夫蹶者趨者是氣也。而反動其心。

解 公孫丑、孟子ノ志至レバ氣次グト言フヲ見、故ニ問フ。此ノ如クナレバ專其志ヲ持テテ可ナリ。又其氣ヲ暴フ無レトハ何ゾヤ。孟子言フ。志ノ向フ所專一ナレバ、氣固ニ之ニ從フ。

然レドモ氣ノ在ル所專一ナレバ、志亦反リテ之ガ爲ニ動ク。人ノ顛蹶ト趨走トノ如キハ、氣專此ニ在リテ、反リテ其心ヲ動ス。既ニ其心ヲ持テテ、又必其氣ヲ暴フ無レト云フ所以ナリ。

敢問夫子惡乎長。曰我知言。我能養吾浩然之氣。

解 公孫丑復問フ。孟子ノ心ヲ動カサザルコト、告子ニ異ナル所以ハ、何ノ長ズル所アリテ然ルカト。孟子又詳ニ之ニ告グルニ、其故ヲ以テスルナリ。言ヲ知ルトハ、心ヲ盡シ性ヲ知リ、凡天下ノ言ニ於テ其理ヲ究極シテ、其是非得失ノ然ル所以ヲ識ルコト有ラザル無キナリ。浩然トハ、盛大流行ノ貌。氣

ハ既所謂體ニ充ツルモノ本自浩然タリ。養ヲ失フ故ニ餒ウ。惟孟子ハ能ク之ヲ養ウテ、其初ニ復スコトヲ爲ルナリ。蓋言ヲ知レバ、以テ夫ノ道義ヲ明ニスル有リテ、天下ノ事ニ疑フ所ナシ。氣ヲ養ヘバ、以テ夫ノ道義ニ配スルコト有リテ、天下ノ事ニ懼ルル所無シ。此其大任ニ當リテ、心ヲ動かサザル所以ナリ。

敢問何謂浩然之氣。曰難言也。

解 孟子ノ先言ヲ知ルヲ言ヒテ、丑ノ先氣ヲ問フハ、上文方ニ志氣ヲ論ズルヲ承ケテ言ヘバナリ。言ヒ難シトハ、蓋其心ニ獨得ル所ニシテ、形聲ノ驗ナク、言語ヲ以テ形容シ易カラザルコト有ルナリ。

其爲氣也至大至剛。以直養而無害。則塞于天地之間。

解 至大トハ、初ヨリ限量ナキナリ。至剛トハ、屈撓ス可カラザルナリ。蓋天地ノ正氣ニシテ、人ノ以テ生ズルヲ得ル者、其體段本ヨリ此ノ如キナリ。唯其自反リテ縮カラバ、其養フ所ヲ得、作爲シテ以テ之ヲ害スルコト無ケレバ、其本體虧ゲズ、其爲氣也配義與道。無是餒也。

解 配トハ合ヒテ助クルコト有ル意。餒トハ飢乏シテ、氣ノ體ニ充タザルナリ。人能ク此氣ヲ養成スレバ、事ニ遇ヒテ、氣ヲ以テ道義ヲ助ケテ、之ヲ行フ。然ラザレバ、事ニ遇ヒテ、十分ノ道理アルモ、亦畏怯シテ爲ルコト有ル能ハズ。

是集義所生者。非義襲而取之也。行有不慊於心則餒矣。我故曰。告子未嘗知義。以其外之也。

解 集義ハ積善ト言フガゴトシ。蓋事事ノ皆義ニ合ハンコトヲ欲スルナリ。襲ハ掩ヒ取ルナリ。言フ心ハ氣ハ以テ道義ニ配ス可シト雖。之ヲ養フ始ハ。乃事皆義ニ合ヒ。自反リテ直キニ由ル。是ヲ以テ愧作スルコト無クシテ。此氣自然ト中ニ發生ス。只一事ヲ行ヒ。偶義ニ合フテ。便外ニ掩取シテ得ベキニ非ザルナリ。慊ハ快ナリ。足ナリ。言フ心ハ。行フ所モレ義ニ合ハザルコト有リテ。自反リテ直カラザレバ。心ニ足ラズシテ。體ニ充タザル所アリ。然レバ義ハ豈外ニ在ランヤ。告子ハ

此理ヲ知ラズ。乃仁ハ内ナリ義ハ外ナリト曰ヒ。義ヲ以テ事トセズ。則必義ヲ集メテ。浩然ノ氣ヲ生ズル能ハザルナリ。

必有事焉。而勿正。心勿忘。勿助長也。無若宋人然。宋人有閔其苗之不長。而揠之者。芒芒然而歸。謂其人曰。今日病矣。予助苗長矣。其子趨而往視之。苗則槁矣。天下之不助苗長者寡矣。以爲無益而舍之者。不耘苗者也。助之長者。揠苗者也。非徒無益而又害之。

解 必事トスル有リトハ。事トスルコト有ルナリ。正トハ預

期スルナリ。氣ヲ養フ者ハ、必義ヲ集ムルヲ事トシテ、其效ヲ
預期スルコト勿レ。或ハ未充タザルトキハ、其事トスル有ル
コトヲ忘ルル勿レ。而シテ作爲シテ其長ズルヲ助クルコト
勿レ。乃義ヲ集メ氣ヲ養フ節度ナリ。閔ハ憂ナリ。懼ハ拔ナリ。
芒芒ハ疲レタル貌。其人トハ家人ナリ。病ハ疲レ倦ムナリ。之
ヲ舍イテ耘ヲザル者ハ、其事トスル有ルコトヲ忘ルルナリ。
掘キテ之ガ長ズルヲ助クル者ハ、之ヲ正シテ得ズ。妄ニ作爲
スルコト有ル者ナリ。然レドモ耘ヲザルトキハ、養ヲ失フノ
ミ。掘クトキハ反リテ之ヲ害ス。是二ツノ事無ケレバ、氣其養
ヒテ得テ害セラルルコト無シ。

何謂知言。曰。諛辭知其所蔽。淫辭知其所陷。

邪辭知其所離。遁辭知其所窮。生於其心。害
於其政。發於其政。害於其事。聖人復起。必從
吾言矣。

解 此ハ公孫丑問ウテ、孟子之ニ答フルナリ。諛ハ偏陂ナリ。
淫ハ放蕩ナリ。邪ハ邪僻ナリ。遁ハ逃避ナリ。四ツノコト相困
ル。言ノ病ナリ。蔽ハ遮隔ナリ。陷ハ沈溺ナリ。離ハ叛去ナリ。窮
ハ困屈ナリ。四ツノコト亦相困ル。言ノ失ナリ。人ノ言有ル皆
心ヨリ出ヅ。其心正理ニ明ニシテ、蔽ハルル無ク、然後ニ其言
フコト、平生通達ニシテ病無シ。モレ然ラズト爲ルトキハ、必
是四ツノ病アリ。其言ノ病ニツキテ、其心ノ失ヲ知り、又其政
事ニ害アルコト、決然トシテ易フ可カラザルヲ知ルコト此

ノ如シ。

爲學第六

○子曰。學而時習之。亦不說乎。

解 學ノ言タル效ナリ。人性ハ皆善ナレドモ、覺ルニ先後アリ。後覺ノ者ハ、必先覺ノ爲ル所ニ效ヒ、乃以テ善ヲ明ニシテ、其初ニ復ス可シ。之トハ事物ノ理ヲ指シテ言フ。學ビテ、既ニ知り既ニ能クスルコトナ、又反覆温習スルナリ。說ハ悅ト同シ。喜意ナリ。既ニ學ビテ又時時之ヲ習ヘバ、學ビシ所ノ事熟シテ中心喜悅シ、其進ムコト自己ム能ハザルナリ。

有朋自遠方來。不亦樂乎。

解 遠方ヨリ來ルトキハ、近キ者ハ知ル可シ。善ヲ人ニ及シテ、信シ從フ者衆シ。故ニ樂ムベシ。

人不知而不愠。不亦君子乎。

解 君子トハ、成德ノ名ナリ。學ブハ己ニ在リ。知ルト知ラザルトハ人ニ在リ。何ゾ愠スルコト有ラン。

○子曰。君子食無求飽。居無求安。敏於事而慎於言。就有道而正焉。可謂好樂而已。

解 安ト飽トナ求メザルハ、志此ニ在ラザルナリ。事ニ敏トハ、其足ラザル所ヲ勉ムルナリ。言ニ慎ムトハ、其餘リアルヲ盡サザルナリ。然モ猶自是ナリトセズ、必有道ノ人ニ就キテ其是非ヲ正ス。學ヲ好ムト謂フ可シ。

○子曰。吾十有五而志于學。

解 古ハ、十五ニシテ大學ニ入ル。此ニ所謂學トハ、大學ノ道ナリ。心ノ之ク所ヲ志ト謂フ。此ニ志ストハ、念念此ニ在リテ、之ヲ爲テ厭ハザルナリ。

三十而立。

解 立トハ成立スル所有ルナリ。

四十而不惑。

解 事物ノ當然ノ所ニ於テ疑フ所無シ。

五十而知天命。

解 天命トハ、天道ノ流行シテ物ニ賦スル者、乃事物ノ當然

ナル所以ノ故ナリ。

六十而耳順。

解 聲入りテ心通シ、遠逆スル所無シ。思ハズシテ得ルナリ。

七十而從心所欲不踰矩。

解 從ハ隨ナリ。矩ハ法度ノ器ナリ。心ノ欲スル所ニ隨ヘドモ、自法度ニ過マラズ。勉メズシテ中ルナリ。

○子曰。溫故而知新、可以爲師矣。

解 溫ハ尋繹ナリ。能ク時舊聞キシ所ヲ習ウテ、毎ニ新ニ得ルコト有ラバ、學ブ所我ニ在リテ、其應ズルコト窮マラズ。故ニ人ノ師タル可シ。

○子曰學而不思則罔思而不學則殆

解 心ニ求メズ故ニ昏クシテ得ルコト無シ其事ニ習ハズ故ニ危クシテ安カラズ

○子曰不患無位患所以立不患莫己知求為可知也

解 所以立トハ以テ其位ニ立ツ所ノ者可知トハ知ラル可キ實ヲ謂フ

○子曰十室之邑必有忠信如丘者焉不如丘之好學也

解 十室ハ小邑ナリ忠實ナルコト聖人ノ如キハ性質ノ美

ナル者ナリ言フ心ハ美質ハ得易ク至道ハ聞キ難シ學ブコト至レバ聖人タルメシ學バザレバ郷人タルヲ免レズ

○子曰知之者不如好之者好之者不如樂之者

解 之トハ道ヲ指ス知ルトハ此道アルコトヲ知ルナリ好ムトハ好ミテ未得ザルナリ樂ムトハ得ル所有リテ樂シムナリ

○子曰中人以上可以語上也中人以下不可以語上也

解 語ハ告ナリ人ヲ教フル者其高下ニ隨ヒテ之ニ告グレ

マ其言入り易クシテ、等ヲ躐ユル弊無キナリ。

○子曰。默而識之。學而不厭。誨人不倦。何有於我哉。

解 識ハ記ナリ。默識ハ言ハズレテ心ニ存スルヲ謂フナリ。學者ハ當ニ此ノ如クナルベシト勉メレムルナリ。

○子曰。不憤不啓。不悱不發。舉一隅不以三隅反則不復也。

解 憤トハ心通ゼント求メテ未得ザル意。悱トハ口言ハント欲シテ未能ハザル貌。啓ハ其意ヲ開クヲ言フ。發ハ其辭ヲ達スルヲ謂フ。物ノ四隅アルハ一ヲ舉ゲテ其三ヲ知ルベシ。

反トハ還リテ相證スル義。復ハ再告グルナリ。此學者ノ力ヲ用井ルニ勉メ、教ヲ受クル地ヲ爲シコトヲ欲スルナリ。

○子所雅言。詩書執禮。皆雅言也。

解 雅ハ常ナリ。執ハ守ナリ。詩ハ以テ情性ヲ理メ。書ハ以テ政事ヲ道ヒ。禮ハ以テ節文謹ム。皆日用ニ切實ナリ。故ニ常ニ之ヲ言フナリ。

○子曰。學如不及。猶恐失之。

解 人ノ學ブコトヲ爲ル。既ニ及バザル所有ルガ如クシ。其心ハ竦然トシテ。惟之ヲ失フコトアラント恐ルベシ。

○子曰。譬如爲山。未成一簣。止吾止也。譬如

平地雖覆一簣進吾往也。

解 山成ラントシテ、但一簣ヲ少クニ、其止ムハ吾自止ムノミ。地ヲ平ゲテ方ニ一簣ヲ覆ス、其進ムハ吾自進ムノミ。蓋學者疆メテ息マザレバ、少ヲ積ミテ多ヲ成ス、中道ニシテ止ムトキハ、前功盡棄タル。

○子曰苗而不秀者有矣夫。秀而不實者有矣夫。

解 穀ノ始メテ生ゼルヲ苗ト曰フ、華ヲ吐クヲ秀ト曰フ、穀ヲ成スヲ實ト曰フ。蓋學ビテ成ルニ至ラザルコト、此ノ如キ有リ、是ヲ以テ自勉ムルコトヲ貴ブナリ。

○子曰後生可畏焉。知來者之不如今也。四十五十而無聞焉。斯亦不足畏也已。

解 孔子言フ、後生ハ年富ミ力疆シ、以テ學ヲ積ミテ、待ツコト有ルニ足レリ。其勢畏ル可シ。安ソ將來我ノ今日ニ如カザルヲ知ランヤ。然レドモ、或ハ自勉ムルコト能ハズ、老ニ至リテ聞ユルコト無クバ、畏ルル足ラザルナリト。此ヲ言ヒテ人ヲ警メ、時ニ及ビテ學ヲ勉メシムルナリ。

○子曰古之學者爲己。今之學者爲人。

解 己ガ爲ニストハ、之ヲ己ニ得ント欲スルナリ。人ノ爲ニストハ、人ニ知ラレント欲スルナリ。

○子曰。吾嘗終日不食。終夜不寢。以思。句無益。句不如學也。

解 此ハ思フテ學バザル者ノ爲ニ言フ。蓋心ヲ勞シテ必求メントスルハ、志ヲ遜シテ自得ルニ如カザルナリ。

○子曰。由也。汝聞六言六蔽矣乎。對曰。未也。

解 蔽ハ遮リ掩フナリ。

居吾語女。

解 禮ニ君子ノ問フコト端ヲ更ムレバ、則起ナテ對フト。故ニ孔子子路ヲ諭シ、坐ニ還ラシメテ之ニ告グ。

好仁不好學。其蔽也愚。好知不好學。其蔽也

蕩。好信不好學。其蔽也賊。好直不好學。其蔽也絞。好勇不好學。其蔽也亂。好剛不好學。其蔽也狂。

解 六言ハ皆美德ナリ。然レドモ徒ニ之ヲ好ミテ、學ビテ其理ヲ明ニセザレバ、各蔽ハルル所アリ。愚ハ陷ル可キ罔ユ可キ類。蕩ハ高キヲ窮メ、廣キヲ極メテ、止マル所無キヲ謂フ。賊ハ物ヲ傷害スルヲ謂フ。絞ハ寬舒ナラザルナリ。勇ハ剛ノ發剛ハ勇ノ體ナリ。狂ハ躁率ナリ。

○子夏曰。仕而優則學。學而優則仕。

解 優トハ餘力アルナリ。仕ト學ブト、理ハ同シクテ事ハ異

ナリ故ニ其事ニ當ル者ハ、必先其事ヲ盡スコト有リテ、後其餘ニ及ブベシ。然シテ仕ヘテ學ベバ、仕ヘテ資クル所以ノコト益深シ。學ビテ仕フレハ、其學ヲ驗スル所以ノコト益廣シ。

○孟子曰。君子深造之以道。欲其自得之也。自得之則居之安。居之安則資之深。資之深則取之左右逢其源。故君子欲其自得之也。

解 造ハ詣ナリ。深造トハ、進ミテ已マザル意ナリ。道トハ進爲ノ方ナリ。資ハ籍ノゴトキナリ。左右ハ身ノ兩傍。至近ニシテ一處ニ非ザルヲ言フナリ。逢ハ値ノ如キナリ。原ハ本ナリ。本ノ來ル處ナリ。君子ノ深ク造ルヲ務ムルニ其道ヲ以テスルハ、持循スル所アリテ、默識心通シ、自然ニ己ニ自得セント

欲シテナリ。己ニ自得スレバ、之ニ處ル所以ノコト、安固ニシテ搖カズ。之ニ處ルコト安固ナレバ、資ル所ノモノ、深遠ニシテ盡クルコト無シ。資ル所深遠ナル時ハ、日用ノ間、之ヲ至近ニ取り、往ク所トシテ、其資ル所ノ本ニ逢ハザルコト無キナリ。

○孟子曰。博學而詳說之。將以反說約也。

解 博ク文ニ學ビテ、詳ニ其理ヲ說ク所以ハ、多キヲ誇リ、靡テ闕ハセント欲スルニ非ザルナリ。融會貫通シテ、至約ノ地ニ説キ至ランヲ欲スルノミ。蓋學ハ徒ニ博キヲ欲スルニ非ズシテ、亦徑ナニ約ナルヲ以ヒザルナリ。

○孟子曰。人之患在好爲人師。

解 學問餘アリテ、人已ニ資シ、己ムヲ得ズシテ之ニ應ズルハ可ナリ。若好ミテ人ノ師トナレバ、自足レリトシテ、復進ムコト有ラズ。此人ノ大患ナリ。

士君子第七

○子曰。君子周而不比。小人比而不周。

解 周ハ普偏ナリ。比ハ偏黨ナリ。皆人ト親厚スル意ナリ。但周ハ公ニシテ、比ハ私ナルノミ。

○子曰。士志於道而恥惡衣惡食者、未足與議也。

解 心ニ道ヲ求メント欲シテ、口體ノ奉ノ人ノ若クナラザ

ルヲ恥トスルハ、其識趣ノ卑陋ナルコト甚シ。何ゾ與ニ議スルニ足ランヤ。

○子曰。君子懷德。小人懷土。君子懷刑。小人

懷惠。

解 懷ハ思念ナリ。德ヲ懷フトハ、其固有ノ善ヲ存スルヲ謂フ。土ヲ懷フトハ、處ル所ノ安キニ溺ルルヲ謂フ。刑ヲ懷フトハ、法ヲ畏ルルヲ謂フ。惠ヲ懷フトハ、利ヲ貪ルルヲ謂フ。

○子曰。君子喻於義。小人喻於利。

解 喻ハ曉ノゴトキナリ。義ハ天理ノ宜シキ所ナリ。利ハ人情ノ欲スル所ナリ。

○子曰。君子欲訥於言而敏於行。

解 放言スルハ易シ。故ニ訥ナラシク欲ス。力行ハ難シ。故ニ敏ナラシク欲ス。

○子謂子夏曰。女爲君子儒。無爲小人儒。

解 儒トハ學者ノ稱ナリ。君子儒ハ己ノ爲ニス。小人儒ハ人ノ爲ニス。

○子曰。君子坦蕩蕩。小人長戚戚。

解 坦ハ平ナリ。蕩蕩ハ寛厚ノ貌。君子ハ理ニ循フ。故ニ常ニ舒泰ナリ。小人ハ物ニ役セラル。故ニ憂戚多シ。

○子曰。君子成人之美。不成人之惡。小人反

是。

解 成トハ誘掖シ獎勵シテ。其事ヲ成サシムルナリ。君子ト小人ト。存スル所既ニ厚薄ノ殊ナル有リ。其好ム所。又善惡ノ異アリ。故ニ其心ヲ用ヰルコト。同ジカラザル。此ノ如シ。

○子曰。君子和而不同。小人同而不和。

解 和トハ乖戾ノ心無キナリ。同トハ阿比ノ意有ルナリ。

○子曰。君子泰而不驕。小人驕而不泰。

解 君子ハ理ニ循フ。故ニ安舒ニシテ驕肆ナラズ。小人ハ欲ヲ逞シクス。故ニ是ニ反ス。

○子曰。士而懷居。不足以爲士矣。

解 居トハ、意ノ便安ナル處ヲ謂フナリ。

○孔子曰。君子有三畏。畏天命。畏大人。畏聖人之言。

解 畏トハ嚴憚ノ意ナリ。天命トハ天ノ賦スル所ノ正理ナリ。其畏ルベキヲ知レバ、戒謹恐懼スルコト、自己ム能ハズシテ、付卑ノ重キヲ失ハザル可キナリ。

小人不知天命而不畏也。狎大人。侮聖人之言。

解 侮ハ戲玩ナリ。天命ヲ知ラズ。故ニ義理ヲ識ラズシテ、忌憚スル所無キ此ノ如シ。

○孔子曰。君子有九思。視思明。聽思聰。色思溫。貌思恭。言思忠。事思敬。疑思問。忿思難。見思得。思義。

解 視ルニ蔽ハルルコト無ケレバ、明ナルコト見ザル無シ。聽クコト壅ガル所ナケレバ、聰ナルコト聞カザル無シ。色ハ面ニ見ハルル者。貌ハ身ヲ舉リテ言フ。問ハント思ヘバ、疑ヲ蓄ヘズ。難キヲ思ヘバ、忿ハ必懲ス。義ヲ思ヘバ、得ルコトヲ苟モセズ。

○子張曰。士見危致命。見得思義。祭思敬。喪思哀。其可而已矣。

解 居トハ意ノ便安ナル處ヲ謂フナリ。

○孔子曰。君子有三畏。畏天命。畏大人。畏聖人之言。

解 畏トハ嚴憚ノ意ナリ。天命トハ天ノ賦スル所ノ正理ナリ。其畏ルベキヲ知レバ、戒謹恐懼スルコト、自己ム能ハズシテ、付卑ノ重キヲ失ハザル可キナリ。

小人不知天命而不畏也。狎大人。侮聖人之言。

解 侮ハ戲玩ナリ。天命ヲ知ラズ。故ニ義理ヲ識ラズシテ、忌憚スル所無キ此ノ如シ。

○孔子曰。君子有九思。視思明。聽思聰。色思溫。貌思恭。言思忠。事思敬。疑思問。忿思難。見思得。思義。

解 視ルニ蔽ハルルコト無ケレバ、明ナルコト見ザル無シ。聽クコト壅ガル所ナケレバ、聰ナルコト聞カザル無シ。色ハ面ニ見ハルル者。貌ハ身ヲ舉リテ言フ。問ハント思ヘバ疑ヲ著ヘズ。難キヲ思ヘバ忿ハ必懲ス。義ヲ思ヘバ得ルコトヲ苟モセズ。

○子張曰。士見危致命。見得思義。祭思敬。喪思哀。其可而已矣。

解 命ヲ致ストハ其命ヲ委致スルヲ謂フ。四ツノ事ハ身ヲ立ツル大節ナリ。モシ至ラザルコト有ラバ、餘ハ觀ルニ足ルナシ。故ニ士能ク此ノ如クナレバ、可ナルニ庶シト言フナリ。

○子貢曰。君子之過也。如日月之食焉。過也。人皆見之。更也。人皆仰之。

解 更ハ改ナリ。

○孟子曰。君子有三樂。王天下不與存焉。父母俱存。兄弟無故。一樂也。

解 此ハ人ノ深ク願フ所ニシテ、得ルコトヲ必ズ可カラザルコトナリ。今之ヲ得レバ、其樂知ル可シ。

仰不愧於天。俯不怍於人。二樂也。

解 人能ク己ニ克テバ、仰ギテ愧ダズ。俯シテ怍ダズ。心廣ク體胖ナリ。其樂知ルベシ。

得天下英才而教育之。三樂也。

解 一世ノ英才ヲ得テ之ヲ教養スレバ、斯道ノ傳ハルコト其人ヲ得テ、天下後世マデ其澤ヲ被ラザルコト無キナリ。

君子有三樂。王天下不與存焉。

解 此三樂ハ、一ツハ天ニ係リ、一ツハ人ニ係ル。其自致ス可キハ、惟愧ダズ怍ダザルノミ。

○孟子曰。廣土衆民。君子欲之。所樂不存焉。

解 地ハ關ケ民ハ聚リテ、澤遠キニ施ス可シ。故ニ君子之ヲ欲ス。然レドモ未樂シト爲ザルナリ。

中天下而立。定四海之民。君子樂之。所性不存焉。

解 其道大ニ行ハレ、一夫モ其澤ヲ被ラザルコト無キ、君子之ヲ樂ム。然レドモ其天ニ得ル所ハ、是ニ在ラザルナリ。

君子所性雖大行不加焉。雖窮居不損焉。分定故也。

解 分トハ、天ヨリ得シ所ノ全體ナリ。故ニ窮達ヲ以テ異ナルコト有ラズ。

君子所性仁義禮智根於心。其生色也。晬然見於面。盎於背。施於四體。四體不言而喻。

解 上ニハ、性トスル所ノ、分ト欲スル所樂シム所ト同シカヲザルヲ言フ。此ニハ乃其蘊ヲ言フナリ。根ハ本ナリ。生ハ發見ナリ。晬然ハ清和潤澤ノ貌。盎ハ濃厚盈溢ノ意ナリ。四體ニ施ストハ、動作威儀ノ間ニ見ハルルヲ謂フナリ。喩ハ曉ナリ。四體言ハズシテ喩ルトハ、四體ノ吾言ヲ待タズシテ、自能ク吾意ヲ曉ルヲ言フナリ。

道德第八

○子曰。參乎。吾道一以貫之。曾子曰。唯。

解 參乎トハ、曾子ノ名ヲ呼ビテ之ニ告グルナリ。貫ハ通ナリ。唯トハ、應ズルコト速ニシテ疑ナキナリ。一トハ理ヲ指シテ言フ。聖人ノ心、渾然タル一ツノ理ナリ。而シテ汎ク應ジ、曲ニ當リ、用各同シカラズ。曾子用ノ處ニ於テハ、蓋已ニ事ニ隨ヒ之ヲ精察力行ス。而シテ未其體ノ一ナルヲ知ラザルノミ。夫子是ヲ以テ呼ビテ之ヲ告グ。曾子果シテ其指ニ默契シ、即應ズルコト速ニシテ疑無キナリ。

子出。門人問曰。何謂也。曾子曰。夫子之道。忠恕而已矣。

解 門人ハ曾子ノ弟子ナリ。己ヲ盡スヲ忠ト謂ヒ、實ヲ以テスルヲ恕ト謂フ。而已矣トハ、竭盡シテ餘無キ辭。一貫ノ旨言

ヒ難シ。門人ノ及ブ所ニ非ズ。故ニ學者ノ勉メ行フベキ忠恕ヲ以テ之ニ答ヘシナリ。

○子曰。朝聞道。夕死可矣。

解 道トハ事物當然ノ理ナリ。之ヲ聞クヲ得バ、生キテハ順ニ、死スルニ安ンジ、遺恨無キナリ。朝夕トハ、其時ノ近サヲ甚言スル所以ナリ。

○子曰。誰能出不由戶。何莫由斯道也。

解 人ハ出ヅルニ戶ニ由ラザルコト能ハズ。何ノ故ニ。乃此道ニ由ラザルカト、怪ミテ歎シタル辭ナリ。

○子曰。中庸之爲德也。其至矣乎。民鮮久矣。

解 中トハ、過グルコト無ク及バザルコト無キ名ナリ。庸ハ

平常ナリ。至ハ極ナリ。鮮ハ少ナリ。言フ心ハ、民ノ此德少キコト今已ニ久シキナリ。

○子曰。志於道。

解 道トハ、人倫日用ノ間、當ニ行フベキ所是ナリ。此ヲ知リテ心ニ之ヲ必スレバ、適ク所正シクシテ、他岐ニ惑フコト無ナリ。

據於德。

解 據トハ執守ノ意。德ハ道ヲ行ウテ心ニ得タルナリ。之ヲ守リテ失ハザレバ、終始惟一ニシテ日新ノ功アリ。

依於仁。

解 依トハ、違ハザル謂ヒナリ。仁トハ、私欲盡去リテ心德ノ

全キナリ。

游於藝。

解 游トハ、物ヲ玩ビ情ニ適スル謂ヒナリ。藝ハ禮樂ノ文射御書數ノ法。皆至理ノ寓スル所ニシテ、日用ノ缺ク可カラザルモノナリ。

○子曰。吾未見好德如好色者也。

解 德ヲ好ムコト色ヲ好ムガ如キハ、誠ニ德ヲ好ムナリ。然シテ民之ヲ能スルコト鮮シ。

○子貢問。師與商孰賢。子曰。賜也過。商也不及。

解 師ハ子張ノ名商ハ子夏ノ名ナリ。子張才高ク意廣クシテ、苟モ難ヲ爲ルヲ好ム。故ニ常ニ中ヲ過グ。子夏篤ク信シ、謹ミ守リテ、規模狹隘ナリ。故ニ常ニ及バズ。

曰然則師愈與。子曰過猶不及。

解 道ハ中庸ヲ至レリトス。賢智ノ過グルハ、愚不肖ノ及バザルニ勝ル。若シト雖然レドモ、其中ヲ失フコトハ一ナリ。

○子張問崇德辨惑。子曰主忠信。徙義崇德也。

解 忠信ヲ主トスレバ、本立ツ。義ニ徙レバ、日ニ新ナリ。

愛之欲其生。惡之欲其死。既欲其生。又欲其

死。是惑也。

解 愛惡ハ人ノ常情ナリ。然シテ、人ノ生死ハ得テ欲ス可キニ非ザルナリ。愛惡ニヨリテ、其生死ヲ欲スルハ惑ナリ。

○子曰驥不稱其力。稱其德也。

解 驥ハ善馬ノ名。徳トハ調ノ良ナルヲ謂フナリ。驥ハ力有リト雖、其稱ハ徳ニ在リ。人ニオアレドモ、徳無ケレバ、何ゾ尙ブニ足ラン。

○子曰賜也。女以予爲多學而識之者與。

解 子貢ノ學、多ニシテ能ク識レリ。夫子其本ツク所ヲ知ラセント欲スルナリ。故ニ問フテ之ヲ發ス。

論語集注

對曰然非與。

解 方ニ信シテ忽疑フ。蓋其ノ學ヲ積ミ功至リ、亦得ルコト有ラントスルナリ。

曰非也。予一以貫之。

解 說ハ里仁篇ニ見ユ。彼ハ行ヲ以テ言ヒ、此ハ知ヲ以テ言フナリ。

○子曰由知德者鮮矣。

解 由トハ、子路ノ名ヲ呼ビテ之ニ告グルナリ。德トハ義理ノ已ニ得タルモノヲ謂フ。己ガ之ヲ有スルニ非ザレバ、其意味ノ實ヲ知ルコト能ハザルナリ。

○子曰人能弘道非道弘人。

解 弘ハ廓メテ之ヲ大ニスルナリ。人ノ外ニ道無シ。道ノ外ニ人無シ。然シテ人心ハ覺ルコト有レドモ、道體ハ無爲ナリ。故ニ人能ク其道ヲ大ニス。道ハ人ヲ大ニスルコト能ハザルナリ。

○子曰鄉原德之賊也。

解 鄉トハ鄙俗ノ意ナリ。原ハ愿ト同シ。鄉原ハ郷人ノ愿ナル者ナリ。流俗ニ同シクシ汗世ニ合ヒテ、世ニ媚ブ。故ニ郷人ノ中ニ在リテ、獨愿ヲ以テ稱セラル。夫子其德ニ似テ德ニ非ズシテ、反リテ德ヲ亂ルヲ以テ、故ニ德ノ賊トシテ深ク之ヲ惡メリ。

○孟子曰。楊子取爲我。拔一毛而利天下。不爲也。

解 楊子ハ名ハ朱。我爲ニスルヲ取ルトハ。僅ニ我爲ニスルニ足レリトスルノミ。人ノ爲ニスルニ及バザルナリ。

墨子兼愛。摩頂放踵。利天下爲之。

解 墨子ハ名ハ翟。兼愛ハ愛セザルコト無キナリ。放ハ至ナリ。

子莫執中。執中爲近之。執中無權。猶執一也。

解 子莫ハ魯ノ賢人ナリ。楊墨ノ中ヲ失フヲ知リ。二ツノ間ニ度リテ。其中ヲ執ルナリ。近ハ道ニ近キナリ。權ハ稱錘ナリ。

物ノ輕重ヲ稱リテ中ヲ取ル所以ナリ。中ヲ執リテ權無ケレバ、一定ノ中ニ膠シテ變ヲ知ラズ。是亦一ヲ執ルノミ。
所惡執一者。爲其賊道也。舉一而廢百也。

解 賊ハ害ナリ。爲我ハ仁ヲ害シ、兼愛ハ義ヲ害ス。執中ハ時中ヲ害ス。皆一ヲ舉ゲテ百ヲ廢スルナリ。

○孟子曰。形色天性也。惟聖人然後可以踐形。

解 人ノ形アリ。色アル。各自然ノ理有ラザルコト無シ。所謂天性ナリ。踐ハ踐言ノ踐ノ如シ。衆人ハ是形アレドモ、其理ヲ盡スコト能ハズ。故ニ其形ヲ踐ムコト無シ。惟聖人ハ是形アリテ、又能ク其理ヲ盡ス。然ル後ニ其形ヲ踐ミテ、歎スルコト

無カル可キナリ。

○孟子曰。仁也者。人也。合而言之。道也。

解 仁ハ人ノ人タル所以ナリ。然レドモ仁ハ理ナリ。人ハ物ナリ。仁ノ理ヲ人ノ身ニ合セテ之ヲ言ヘバ。乃所謂道ナリ。性ニ率フ之ヲ道ト謂フハ是ナリ。

論孟提要終

明治三十二年九月廿九日印刷
同 年十月三日發行

論孟提要
定價金四拾錢

著 作 者 佐 藤 雲 韶

印 發 行 者 兼 金 港 堂 書 籍 株 式 會 社
東京市日本橋區本町三丁目十七番地

代 表 者 右 社 長 原 亮 三 郎
東京市下谷區龍泉寺町四百十番地

賣 捌 所 各 府 縣 特 約 所

